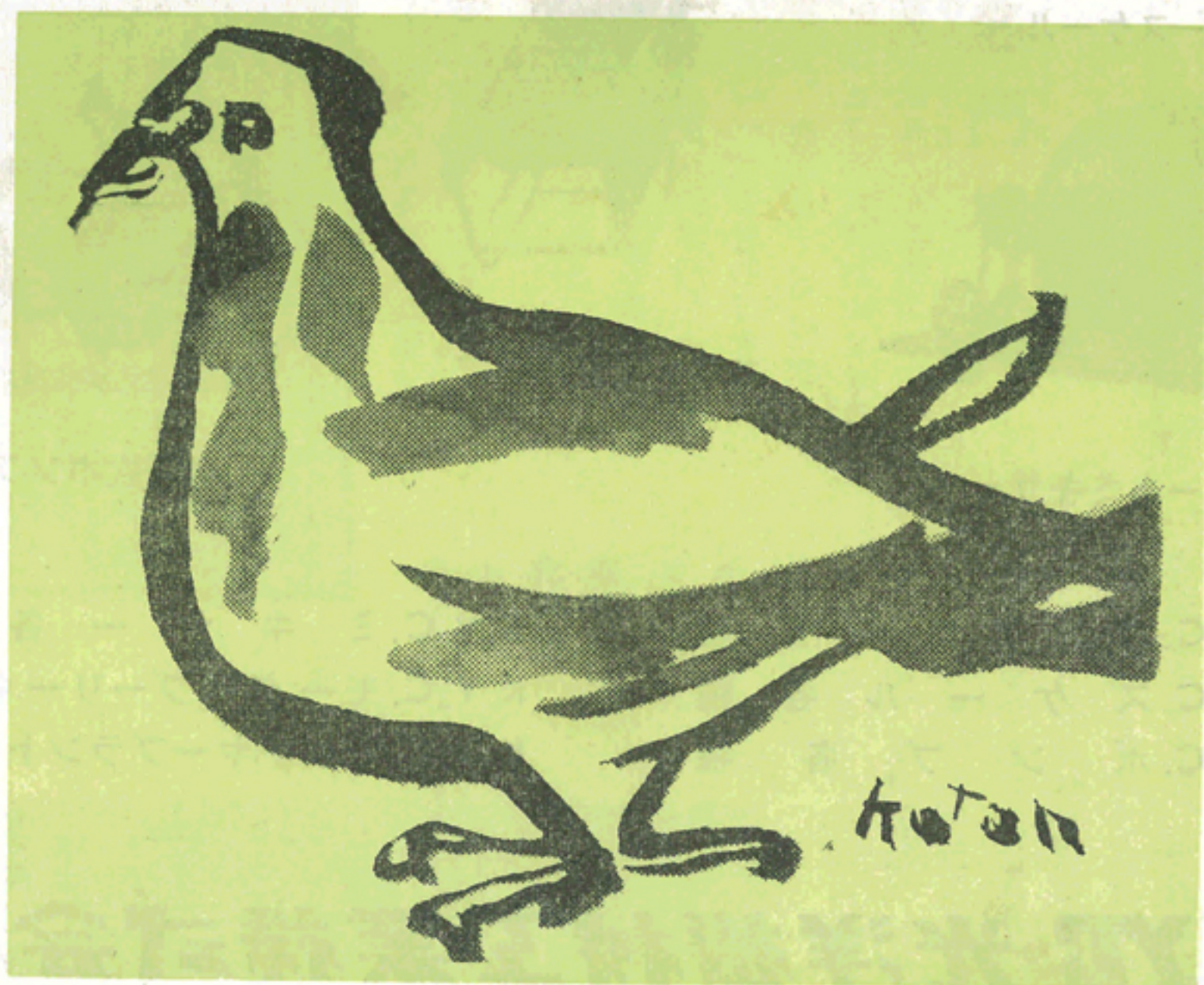


6342 15-4-1

緑 丘

No 43



大商會誌  
小樽同窓会



新発売 セン抜き無用



●日本ではじめての<王冠革命>  
スポンノと手で豪快にあけて下さい。もう、セン抜きなんか要りません。日本のビール界ではじめての画期的な大発明を、サッポロがやってのけました。<ワンタッチ・クラウン> 小さなうばがついた現代の王冠です。

●このびんがストライク型です  
どこもムダのない、ひきしまったスタイル。モダンでハンディでユーモラスで、かっこいいストライクびん。

●さわやか、味の直球ストライク  
北緯45度がビールの本場。ミュンヘン・サッポロ・ミルウォーキー。その本場のサッポロストライク。瞬間殺菌法の新鮮な味が、直球でしみわたります。スポンノと手であけて下さい。

●サッポロストライクあけかた3態



★サッポロ  
ストライク



学芸



寒流

小林多喜二と名門校

4月15日 毎日新聞学芸欄

戦前のプロレタリア文学の成果について、このところ大勢はかなり批判的である。とりわけ、文体ということになると、無残なくらいである。私小説的だとか、自然主義的で古めかしいといった手きびしきで、最近のような文学革命の多様化のなかでは、とんと精彩がない。小林多喜二などは、ひところは神様のような存在であった。戦後数年の爆発的なプロレタリア文学全体の再評価機運は、なんだか幻影だったといわれそうなの気がする。

そんなとき、思いがけなく小樽商大同窓会誌「緑丘」(大阪市東区道修町三の二、塩野義製薬内、墓目英三方)がこんど小林多喜二特集をだした。

「緑丘」小林多喜二特集論評

小林多喜二と名門校

毎日新聞(四月十五日)学芸欄より

緑丘

全国版

(通巻)No. 43号  
(40年度1号)  
(編集責任者)  
大阪市東区道修町三の一  
塩野義製薬株式会社内  
墓目英三  
(緑丘大阪支部)  
大阪市北区梅田八番地  
新阪急ビル8階内  
サッポロビル(株)

4月15日 毎日新聞学芸欄  
「情理をそなえた伊藤整」と題して批評が出ました。

五月七日の東京新聞に「情理をそなえた伊藤整」と題して批評が出ました。

した。多喜二が商大の前身、小樽高商卒ということ、彼れの生まれ故郷、小樽に文学碑を建てる運動がすすめられていることから、この思い切った企画が誕生したらしい。が、なかなか本格的な特集なのである。多喜二に関する写真や雑誌、当時の新聞なども転載、伊藤整、加茂儀一、板垣直子、中野重治といった人たちにまじって商大の大ぜいの卒業生が碑のこと、思い出などを書いている。銀行の重役、大学教授、高校教諭とさまざま。それだけでなく、ていねいな多喜二の年譜や著書目録、文献まで添えられている。いたれりつくせりの壮観さなのだ。

しかしこういう特集も、よく考えてみると、多喜二が名門校の出身だったからできたのだろう。そういえば、雑誌「多喜二と百合子」はどうなってしまったのだろう。かつて共産党の分裂騒ぎのなかで発刊されたものだが、それだけにいつかは消滅する運命だったのかもしれない。「緑丘」のような政治主義皆無の特集と比べてみると、時代の推移の複雑さがうかがわれぬでもない。

東京新聞文化欄も

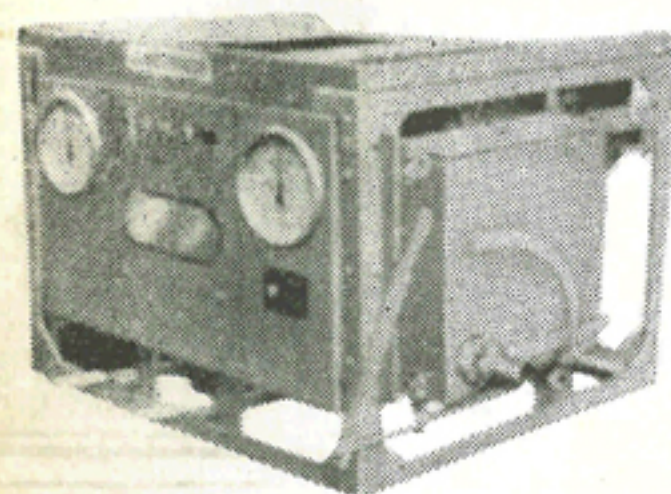
手帳 緑丘

小林多喜二の特集

母校の小樽商大同窓会

4月13日 読売新聞学芸欄

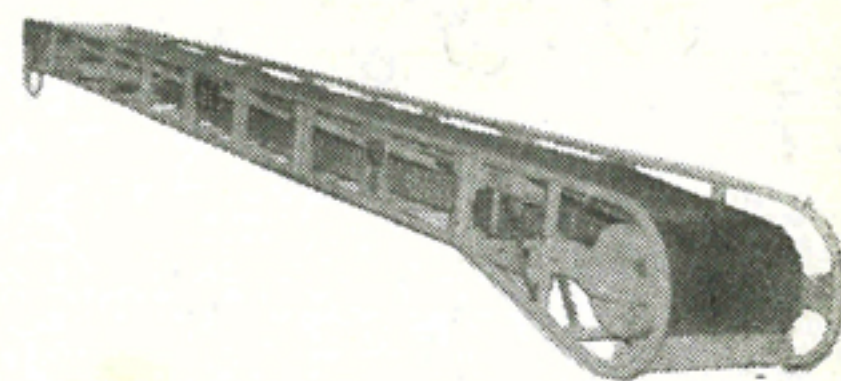
KYC 建設機械



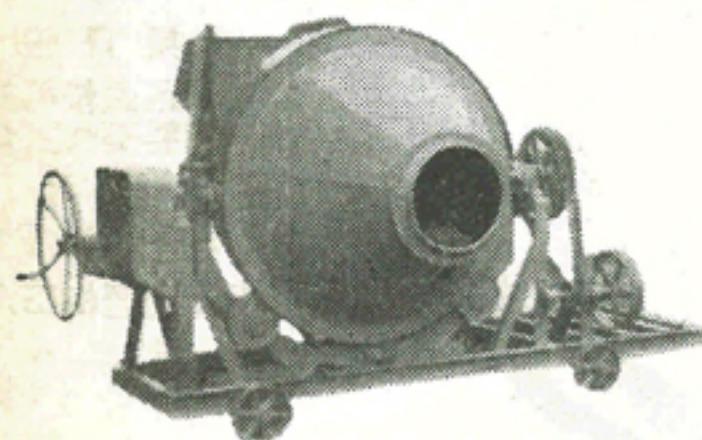
バッチヤースケール



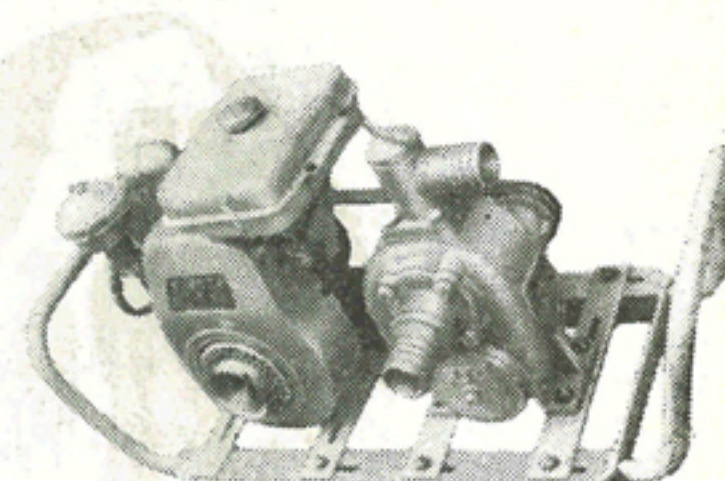
ニュークライマー



ベルトコンベヤー



コンクリートミキサー



自吸式ポンプ

営業品目

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| K.Y.C.コンベヤー各種 | K.Y.C.ミキサー各種      |
| K.Y.C.スケール各種  | K.Y.C.モータープーリー各種  |
| K.Y.C.ポンプ各種   | K.Y.C.バッチャープラント各種 |

総合建設機械のトップメーカー

KYC 光洋機械工業株式会社

取締役社長 奥村正美(昭17)

- |        |                           |                            |
|--------|---------------------------|----------------------------|
| 本社     | 大阪市北区南同心町1丁目12番地          | 電話大阪(5)3091~5              |
| 大阪営業所  | 大阪市北区末広町12番地              | 電話大阪(351)2039・(358)6531番   |
| 東京営業所  | 東京都千代田区神田鎌倉町6番地           | 電話東京(252)2012・(254)5601~5番 |
| 上野営業所  | 東京都台東区東上野1丁目20番地          | 電話東京(832)8819・8820番        |
| 福岡営業所  | 福岡市中浜口町19番地               | 電話福岡(2)4161~4164番          |
| 広島営業所  | 広島市東平塚町2番12号              | 電話広島(41)6525・8435番         |
| 関西出張所  | 大阪市北区末広町12番地              | 電話大阪(358)6532・6533番        |
| 近畿出張所  | 大阪市北区末広町12番地              | 電話大阪(358)6532番             |
| 高松出張所  | 高松市塩上町1181番地              | 電話高松(3)4392・2771番          |
| 鹿児島出張所 | 鹿児島市加治屋町16の10番地           | 電話鹿児島(2)3055番              |
| 名古屋出張所 | 名古屋市東区整代官町14番地            | 電話名古屋(94)1315・2860番        |
| 富山出張所  | 富山市豊川町1番1号                | 電話富山(2)6505・2379番          |
| 仙台出張所  | 仙台市北2番丁83番地               | 電話仙台(25)4441~3番            |
| 札幌出張所  | 札幌市南11条西8丁目541の2          | 電話札幌(25)9868・(26)7964番     |
| 工場     | 寝屋川工場・守口工場・吹田工場・枚方工場・所沢工場 |                            |



### もつと生かして自由に書かせたかった

大平 善 梧 (大一一五)

『緑丘』小林多喜二特集号は、素晴らしい出来ばえであり、関係者一同本当にご満足のことと存じます。とうとう平林たい子さんの一文は遅れて頂けないことになりましたが、同氏から情報を入手して依頼した板垣直子さんの力作の一篇でもって飾ることができたのですから、私としてもお役にたつて何よりと考えているわけでありませぬ。

私と小林多喜二との関係は、どうも個人的には直接に何も無いようです。大正十一年に小樽高商に入学した私は、同じ北斗寮の学友から、二年先輩の多喜二の文名を聞いた位で面談の機会も与えられなかったようでありませぬ、同級の小鍛冶快健、五味与市君などは色々雑学をしていたので、『北方文芸』の話など教えてくれて、大いに啓蒙され、そのなかで英雄的に多喜二のことを知らせられたものでした。多喜二の方が、伊藤整などより、文学者として学生の私達には名前は売れていたと記憶しています。

「不在地主」を発表まもなく中央公論誌上で読んだときは、すごい感動に打たれたものであります。私が多喜二の作品に触れたのはこれが初めてだったと思います。蟹工船の方は逆にずっと後になってから読んだのです。しかも、この頃になって蟹工船などを再読してみると、もう年

齢の差があるのか、荒削りで、滋味に乏しく、昔の感銘は受けることができなくなっています。プロレタリア文学の歴史性は、当時と比較してすでに終ってしまったとの印象が強いわけですね。やはり多喜二は時代の子だったという感じがあります。

小林多喜二は三〇才で死んでいるので、作家としてはやはり未完成のままその一生を終ったといってしまうでしょう。今度の記念号で人間多喜二のことをよくよく知ることができたが、彼のすばらしい才能を思うにつけても、多喜二をもつと生かして自由に息のつく限り書かせたかったと改めて慨嘆させられました。多喜二は五分咲きの花、半開の北海道桜のままで果てたのだと思われませぬ。(一橋大学教授)

### こみ上がる思慕の情

織田 ムメ

多喜二特集の御編集につきお勤めの中からあちこちと原稿の蒐集にどんなにか、御苦労なされたことと存じます。(作家)

### 読んで

(到着順)

「緑丘」ありがたく拝読させて頂きました。お偉方ばかりの投稿でそれぞれの思い出や御批判が細かに飾り気なく書かれてあり、とても面白くあんなことも、こんなこともあったのネ……と私の思い出とくらべ合しては、あらたに、こみ上がる思慕の情をどうすることもできない位でした。当分は私の脳裏をさまよっているでしょう。

市販の物とはちがいが執筆者が人格者ばかりですから本当に貴重な訳だと存じます。大野先生はとりとめのない私の話を要点をつまみ易にお書き下さったことも流石にと感銘致しました。先生や貴方様のおかげで非才な私の写真が皆様にお目見得いただけること何と感銘に堪えませぬ。厚く御礼申

### 限りない追想の線をたぐる

鈴木 信 (大一一四)

「多喜二特集」落筆致しました。実はこのような企画は、色々な制約を受けてむずかしいだろうと心配していましたが、御苦心が実って立派に成功せられたことを、心から祝福申し上げます。

編集後記に、この企画の「意図奈辺にありや」との疑いを投げかけられてショックを受けたと記されていますが、加茂学長の文章が何よりもよくこの特集の意義を言い尽していると思えます。

この加茂学長の一文といい、南・糸魚川・室谷・大野の当時の諸先生方といい、身をもって心理を求め正しく生きようとした多喜二の情熱を認め、思想的立場を超えて彼のために一文を寄せられたことは、わが緑丘学園の伝統たる自由の精神が今なお磨かれてはいないのだと、感激を新たにしたい次第です。それはともかくとしても『多喜二』の背景として描かれた諸氏の当時

の学園の情景や人の名は、時代を共にした私にとって、限らない追想の糸をたぐり出す糸口となつて、懐しい限りでした。写真が豊富に取り入れられたことお手のもの、カットや神経の行き届いた紙面の割りつけ(原稿に軽重をつけられない同窓会誌では大変むずかしいだろうと想像しています)など、何れも苦心の跡が見られ、とても立派な出来栄だと感心しました。

かねがね『緑丘』のために払われている大兄の犠牲的なお骨折りに敬服しかつ感謝している者ですが、この機会に一言感謝の意を表したく一筆した次第です。(日本精鉱専務取締役)

### 貴重な文献

伊藤 整 (大一一四)

多喜二特集大立派にできまして厚く御礼申し上げます。ただ拙稿が大きく扱われたのは少々困惑でした。

とにかくこれでいくらかでも建碑の運動が前進することになれば、ひとえにお力によるものと存じます。文献としても貴重なもので、後になるほど探し手が増加すること必定です。

立野信之、佐多稲子等雑誌をほしい人が多く、二十部ほど私あてに送っていただきたくお願い申し上げます。本日会費を含め代金お送りしました。こちらでも好評で「毎日」に

出た批評もごらんになったことと存じます。(作家)

### 稀覯本となろう

越崎 宗一 (大一一一)

緑丘小林多喜二特集正に拝受いたしました。原稿集め並に編集に御苦労だったことをお察し申し上げます。しかし多喜二資料として非常に貴重なもので、校友のみでなく、方々から希望も多いためです。おそらく将来稀覯本となり、古書店あたりで高価な値段がつけられるであろうことは間違いないと存じます。残部はなるべく大切にしておくべきです。(佛越崎商店社長)



### を

毎度のことながら編集部のみならず御苦心と編集の手際のよさにホトホト感じ入りました。表紙の明るくて清潔な感じがまた小林さんの短かかったけれども信念一筋に生き抜かれた美しかった生涯を思わせ、誠にこの号にふさわしいデザインであると存じます。

### 同窓会誌以上の大きな意義をもつ

加茂 儀一 (学長)

五二頁に亘るありし日の多喜二に追想や多喜二文学の特質にふれる幾多の御寄稿、それぞれに皆貴重な文献であると存じ本特集号発刊を心から祝福し多喜二碑の見事な完成を祈って止みませぬ。

### 「危険な手出し」に恥じる

桜井 長徳 (大一一三)

小林多喜二特集お送りいただき、ありがとうございます。白状しますと実はこんな立派なお仕事ができるとは考えていませんでした。

「危険な手出し」ではないかなどとさへ思ったのでした。自分の独断を恥じるとともにそれだけに努力とその効果に心から敬意を表します。

お忙しい中で、これだけの作業が行なわれたことは驚異です。小林君に対する真の理解と愛情があったればこそと信じます。執筆された人々もみんなまじめな態度で申し送って内容も極めて立派です。あつくお礼申しあげます。(北海道新聞社元編集長)

### 内容の豊かさ

小梁川 重彦 (昭一〇)

いつに変わらぬ母校のための不眠の御活躍、頭のさがる思いです。小生の記事も出ていますので、少し恥かしいのですが、今度「小林多喜二」の特集号を御送り頂いて有難う。この号はとくに全般に亘って、並々な



この度「緑丘」小林多喜二特集挿  
受編集の御苦勞をお察しいたします  
とともに内容の豊かさ、資料として  
も意義深いものと存しながら拝見  
いたしました。誠に有難う存しまし  
た。(札幌市立図書館長)

### 注目する貴重な研 究資料

峯村 文人  
(元教授)

同窓の方々にはもちろん、学界に  
とりましても貴重な文献でございま  
す。近代文学研究者吉田精一教授は  
じめ友人たちに大いによるこぼれま  
した。貴重な研究資料ですので、今  
後も学界で話題になりますのでしよ  
う。(すでに読売新聞にも紹介され  
ているわけですが、皆注目していま  
す)(東大教授)

### 北国の人の執念

中野清一  
(大一一)

「多喜二」特集を三度、くり返し  
てよみました。いつものことながら  
頭が下がります。末川先生(立命館大  
学学長)にも一部差上げました。私  
の眼の前で、三篇ほど読過(一寸待  
つてと私に声をかけた上で)「手塚  
英孝氏の一冊ものより(先生は驚く  
べき多読家しかも記憶豊富)遙かに  
よい、北国の人の執念(この言葉を  
早速と先生は使われた)の生感によ

くのみこめた」云々と言われまし  
た。(立命館大学教授)

### たぐいまれな良い 仕事

稲垣芳雄  
(大六)

四月十三日「緑丘」第四十二号の  
「小林多喜二特集」を入手しまし  
た。状袋から取り出してすぐひどく



ってあります。  
まことに心にくいほどあかぬけた  
デザインです。

中味を丹念に読みました。恩師、  
級友、先輩、後輩はもとより、緑丘  
関係以外の方々の文章もたくさん載  
せ、小林多喜二の人間と作品に、あ  
らゆる角度から照明を当てていま  
す。

多喜二を語るに必要な写真も豊富  
に出ていますし、いいカットも多く  
あります。とりわけ重要で貴重だと  
思ったのは、多喜二のくわしい年譜  
と著作目録と参考文献です。六十二  
ページの中、多喜二特集に五十二ペ  
ージをさいています。まことに充実  
した立派な内容だと、心から感服し  
ました。

四月十五日の「毎日新聞」夕刊の  
学芸ページに「小林多喜二と名門  
校」と題するコラムがあり、その中  
に「一なかなか本格的な特集」であ  
り、「一いたれりつくせりの壮観さ  
なのだ」とほめているのを読みまし  
た。この心をこめた仕事が高く評価  
されたことは会心の至りです。苦勞  
し甲斐があったと墓目さんも満足し  
ておられることと察しています。

緑丘出身者の中から、小林多喜二  
と伊藤整(敬称略)と二人のすぐれ  
た作家が出たことは、母校の性格か  
ら考えて面白い現象だと思えます。  
伊藤整は、ひとり小説家だけでなく  
評論家であり、翻訳家であり、英文  
学者であり、大学の先生であり、詩  
人でもあり、現在元気で幅広く根気  
のよい仕事をしていきます。

伊藤は小林の一年後輩の由ですが  
二人の歩んだ道も、個性も、作風も  
全く違っています。伊藤整が、多喜  
二について二ページ余にわたって書  
いたものは、実にゆき届いた、温い  
心に満ちているよい文章です。

私は多喜二の作品を、「蟹工船」  
「不在地主」「一九二八年三月十五  
日」「党生活者」の四つしか読んで  
いません。もちろん読んだ当時、そ  
れぞれ心に触れるものがあり感銘を  
受けたことは事実です。

今生きておれば六十一才、私より  
六才下です。生きていたら、どうい  
う生き方をし、どうい活動をし、  
どうい作品を書いたか見当はつき  
ません。しかし少なくとも私が読ん  
だ四つの作品の質から推して考える  
と、時のふるいにかけてもやはり長  
く残るすぐれたものを生みうる作家  
であると信じています。

私はゆうべ筑摩書房刊行の日本文  
学アルバム「小林多喜二」を書架  
から取り出し読み返してみました。  
特集号を読んだあとのせいもあり  
一ページ一ページ心をこめて写真  
を見、解説を読み、最後に手塚英孝  
さんの多喜二に関する文章も読みま  
した。

多喜二は、原稿を書く準備のため  
のノートを取り、原稿は徹底的に推  
敲しています。人間および芸術家と  
して多喜二の、自らにきびしい態度  
とまじめな性格があらわれていると  
思い、心を打たれました。  
同じ緑丘の出身なのに、多喜二に  
ついて私の知っていることは非常に  
わずかでした。今度の特集号のおか

### 一冊の本に拡充し たい

板垣与一  
(昭四)

小林多喜二特集は各方面で多大の  
反響を呼んでいることでしょう。あ  
のままではほんとうに惜しい気がし  
てなりません。気の利いた一冊の本  
に拡充したいものです。  
(一橋大学教授)

### 名門校・小樽高商

水垣敏正  
(昭五)

「緑丘」を送られた日は何時も寝床  
にもぐって、学生時代に若がり、  
楽しく読むことにしている。今回も  
あすの日曜日は朝寝坊ができるとい  
う安心感から多喜二特集を抱きこん  
で一気に読み終った時はもう二時半  
であった。

それから明け方までウトウトして  
いた。多喜二先輩の烈々たる熱情と  
執念は主義や主張を越え、年代を超  
えて今に生きているのであろう。ま  
してや今のわれわれ緑丘人の一人一  
人の胸の底にも先輩に通ずる「同じ  
感ずる」ものが秘められている。そ  
れをまざまざと呼び起してくれたい  
が、この「緑丘」多喜二特集号であ  
った。

編集部のただ黙々とやり通される  
静かな情熱と気概には頭が下がる。  
何か多喜二先輩に通ずる斗志のよう  
なものがあるのを感じたのは私ひと

げで、多くを知る機会を得ました。  
全貌とは言えないにしても、多喜二  
の片鱗なり輪郭なりを知ることがで  
きて、ありがたいと思えます。  
「緑丘」はこれでまた一つたぐいま  
れな良い仕事をなしてあげました。墓  
目さんでなければできぬ、ユニーク  
な見事な仕事だったと思っていま  
す。(春秋社)

### 感情深く読む

和田克己

「緑丘」小林多喜二特集号入手致  
しました。全く立派な出来栄で表  
紙、紙質、編集等なかなか美事なも  
ので、よくおやりになったことと御  
苦勞の程をお察し申し上げます。有難  
うございました。内容につきまして  
は私も初めて知ることもあり、知名  
人の文章も味わい深くほんとうに感  
動をもって読んで戴きました。

この中に小生の拙文は恥入るばか  
りですが他の人の触れていない面  
があったことを喜んでいきます。  
他の人の文にもありましたが、越  
路洋品店は「越治」ではなかったで  
しょうか。

有難うございました。建碑の竣工  
を祈念申し上げるだけでございま  
す。  
(編集部)「越路」と「越治」につ  
いては編集部はどれに統一すべき  
か迷った問題でした。伊藤整著  
「若い詩人」の肖像(詩人たちの  
出合い)の「越路」に拠りまし  
た。

### 単行本の域

大久保 鹿式  
(大一一)

小林多喜二は僕の一年あとの人で  
ある。郷里は違うし学年も違うの  
で、殆んど交渉はなかった。従って  
彼との間に何の話題もなかったのだ  
多喜二特集に筆をとらなかつた。

小林多喜二の学生時代の顔はどう  
したことか、僕の頭の中にコピリ付  
いて、いまでもハッキリ印象付けら  
れておる。小柄で、風采の上らない  
彼が、一面にあんな大きな文才を持



っておったのかと一驚せざるを得な  
い。僕は「蟹工船」しか知らなかつ  
たのだが、全集ものとして十二冊に  
もなつておると聞いて更に大きく驚  
かされた。同じ学校に同年代に学び  
ながら彼についての僕の認識不足を  
いまさらながら恥じるの外はない。

さるにも今回の小林多喜二特集  
はよくもこんなに原稿が集まったも  
のだ。彼が学生時代、拓銀時代、そ  
の後の党活動を通じ非常に話題の多  
かった人であったこと、しかも非常  
に秀でた人であったことの証である  
に、確かに彼は独自のものを創ると

### 碑の完成十月に

浜林正夫

この特集はもう同人雑誌の範疇を  
通り越えて立派な単行本の域であ  
る。六十二頁に余るギッシリ詰った  
活字は、優に四六判二百頁にも該當  
する大きな仕事である。  
ますます佳境に入る墓目さんの業  
蹟は塩野義製菓の一課長の余技にし  
ては勿体なき過ぎる輝かしきもので  
ある。

多喜二特集号五〇部、たしかに拝  
受いたしました。大へんな御手数を  
おかけしたことに存じます。ほん  
とにありがとうございます。東京  
でも、二、三の方から、大へんな御  
好評をさいてきたところです。おか  
げで募金もようやくメドがついてき  
ました。碑の完成は予定よりおくれ  
十月になりそうですが、何とか立派  
なものにしたいと存じます。  
(小樽商大教授)



りではないでしょう。  
 毎日新聞(四月十五日)夕刊の学芸「小林多喜二と名門校」の論評はこの特集を本格的な特集として高く評価しているのは嬉しい。そして戦前のプロレタリア文学そのものについてはかなり批判的であるにもかかわらず「多喜二が名門校の出身だから」という特集も出来たのだからと結んでいる。第三者の見方はそれで十分である。

しかしわれわれ緑丘人はこの特集を通して多喜二先輩を今の時代にかし、その関連で小樽高商を名門校たることを再認識せしめた蔭の苦勞者すなわち編纂者の功をこの特集に協力せられた方々に、改めてその勞を謝し御礼を申述べねばならぬ。(エムシー・シー・社長)

**読みごたえある特集**

本間 毅 郎 (昭三二)

多喜二特集はなかなか読みごたえのある実に素晴らしい特集で編集の御努力の跡があちこちににじみ出て感じられます。楽しみにページをめくらせて頂いておきます。  
 (塩野義製菓株)

**待ち通しい多喜二 碑**

山本 信 爾 (昭八)

これほど纏った内容の豊かな特集

**多喜二特集五〇冊贈る**

昭和十一年卒小野寺佐氏(会津若松)は編集部へ五〇冊の多喜二特集を予約して、建碑期成同盟へ寄贈された。

**建碑期成同盟も**

五〇冊買上げ  
 小林多喜二建碑期成同盟事務局の予約で五〇冊を送りました。

**近代文学館へ二冊入る**

伊藤整氏の御協力で近代文学館へ多喜二特集が二冊入ることになった。

**国立国会図書館からも**

国立国会図書館からの要望により小林多喜二特集を贈った。

**東京都立大学附属図書館からも**

東京都立大学附属図書館からも申込あり寄贈した。

号にお目にかかったことがない。在世中の彼の足跡はつぶさにこの中に溢れていてどの頁をめくっても素晴らしいものである。私も終戦前頃、拓銀小樽支店の古めかしい木製の椅子によって仕事をしたい思い出にとまことに彼がこの店で同じ仕事をしていたことがあること、またここで後世名声を築いたエルネスト・セネカプロレタリア文学の創作。数々のエピソードの第一頁が開かれたことどもが、ただいまこの店の部屋の片隅に臭いでも残っていないかという気がするわけですが、さて星移りこの拓銀ビルを含めたまことに何ともいえない美しい小樽港を眼下に見下す見晴台に立派な「多喜二の碑」が建立されるという。

イデオロギーを離れた数多くの市民の熱意が実つてこの企てもさることながらこの丘を訪れる幾十万人の人々はさぞかしこの美しい景観を眺めているうちに、いつしか彼の悪夢の一生も薄らぎ香り高き文学者として憶い出さるるに違いない。碑の完成が待ち遠しい。(小樽倉庫社長)

**小林多喜二特集**

一部三〇〇部

読売新聞・毎日新聞・東京新聞に小林多喜二特集の論評が出たため一般人の照会多く、一部三〇〇部(郵送含む)で頒布してありますが、部数少なく品切れも近いことと思ひます。

**楽 我 記**

**四十五年前の原稿**

越 崎 宗 一 (大一一)

大正十年十一月十一日小樽高商屋内体操場で在校生を前に名古屋高商校長として赴任される渡辺龍聖校長の告別の御挨拶と伴新校長就任の御挨拶があった。その後私は両先生に対する敬送の辞を述べたのだが、最近書棚を整理していたら高商時代のノートが数冊出てきて、その内の一冊、高岡先生の農業政策の末尾の余白にその要旨が書き込んであったので、當時を回想しながらここに誌す次第である。

私達は渡辺校長がその創立委員長に選ばれた際、私達は胸に何となくある不安を感じたのでありました。それ以来われわれ生徒はある黒い雲に脅かされてきました。しかしその中にも私達はあるいは校長の決心意見を聞き伝え、わずかに慰めて参りました。しかし私達が胸に怖る怖る抱いていた不安は到々やってきました。いよいよ校長先生とここにお別れしなければならなくなりました。かねて内心覚悟はしていても、それが実現して、いまこの席で送別の会を催すに当って全く感慨無量の念にうたるとあります。今日の日は私達にとって永久に記念すべき実に悲しい日ではないでしょうか。

先に渡辺校長は明治四十三年未だ内地の人々からは異国である、熊やアイヌの住んでいると思われていた

**楽 我 記**

この北海道にわが小樽高商校長として渡道せられ、位置においても甚だ不利な本校をして遂に今日をなすにいたらしめて下さいました。今日われわれは小樽高商の生徒である、小樽高商卒業生であると威張つていられるのも一に渡辺校長のお蔭であります。今日どこの高商に対しても決して見劣りのしない学校に仕立て上げて下さったのも校長のお蔭です。われわれ全校の生徒はここに満腔の感謝を捧げなければなりません。

いまや渡辺校長は先生の言によれば一に公、二に私の都合上名古屋に去られようとしておられます。私共は校長が本校のためにお尽し下さった功績が大きければ大きい程、校長を手放したくはありません。しかしいま私どもは校長を無理にお留めしようとは致しません。私は過去の御尽力に感謝して深くお送りしようと思ひます。私共には不満もあり、渡辺校長の前にいたいことも胸に余るほど沢山あります。しかし、私はいまこの際特にいいたくもありません。またいづべき時期ではないと思ひます。ただ校長は今後本校のために尽力すると言明せられました。私は願くば、このお言葉が一片の空言でなくして真実に心の底から溢れ出た愛のほとばしりと信じます。諸君深くお送りしようではありませんか。

私達はこの悲しみの中にも新たに校長を迎えて喜ばなければなりません。伴新校長は京都の大学より遙々この遠い北海道へ赴任せられ十年この方、渡辺前校長を助けられ、その内助の功また大であります。伴先生

は本校の新校長として、その人格においても学識においても、また本校の事情をよく知っておられる点においても最も適任者であります。伴先生は謙遜せられて私は学校の一時の預り番である、留守番であるといわれましたが、先生は決してそんな方ではありません。今後の本校をしますますその基礎を固め、発展せしむるに足る最責任者であると思ひます。かかるよい校長を迎えて、われわれはせめてもの慰めと致したいと思ひます。

これをもって両先生への敬送の辞といたします。

今にして思えば漸く緒につかんとした本校を見捨てて去らるるような思いがして渡辺名校長に対していささか嫌味のような言葉を弄したのも若気の至りと慚愧に耐えませぬ。地下の先生にお詫びしてペンを擱く次第である。(一九六五・三・一一)

**深い感銘を受けた 恩師のはなし**

広 島 H 生

古い言葉であるが「山高きが故に尊からず木あるをもつて尊しとなす」という言葉があった。二月十三日の関西損害保険本科講座の修了式において講師代表として述べられた椎名幾三郎講師の話には感銘した。保険行政、開放経済下の損保等専門的な立場からの話の後、同氏は人間が他から尊敬されるというのは何をもってか—ということに結んだ。

技術革新に貢献する  
**丸嘉機械株式会社**

大阪(本社)・東京・名古屋・岡山・広島・姫路・仙台

**広告マツクと美術印刷・紙工品**

**三優社**

株式会社  
 京都市下京区寺町通松原下ル  
 TEL. (35)0271・4950・7713  
 取締役社長 山村太兵衛 (昭12)

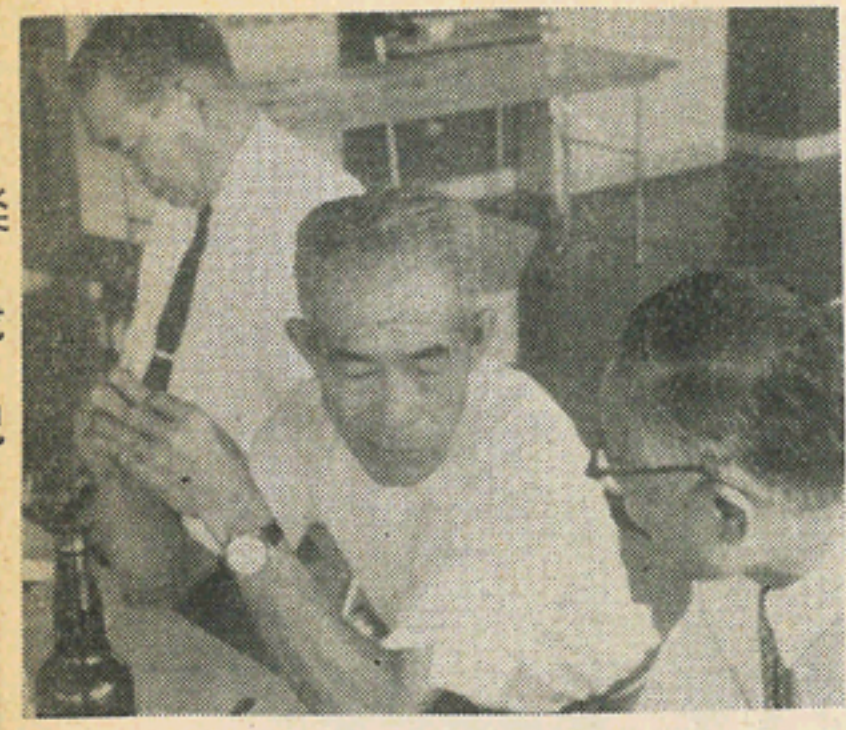
是非一度皆様からの御用命を……特別奉仕



楽我記

「金があつて」かということにはいろいろな見方があつた。シミツレだから金ができたのだとかあるいは何かをゴマカしたからできたのだとかいう見方もあつて、全面的には尊敬されない。次は「力がある。馬力がある」から尊敬されるかというところでもない。これも一面人からわがられ全面的な尊敬にはならない。最後に「知識」だけは別である。この人は何とよく物を知っているというところで人は全面的に感心する。知識のとほしい人は軽べつされどのできない大事なもの、社会に立つても尊敬される価値あるものである。諸君も大いに頭を鍛練してほしい。鍛練された頭はどこえいって活用できると結んでおられた。学者らしい言葉で同氏の性格をそのまま表現しておられた。同氏は筆者の恩師である。大正十二年関東大

ビルパーティ(大阪)の  
椎名先生(中央)



楽我記

地震の春。筆者は北海道の学び家を後に実社会に出た。その学び家で同氏は商業学の講座に「海上保険」の講義をやられた。一ツ橋の藤本孝太郎博士の門弟で一ツ橋を出てすぐ小樽に来られた。そこへ筆者が大正九年入学したのである。雄弁ではなかった。むしろとつべんの方であったが、もゆるようなフアイトのある教授であった。教授といつても筆者と、三つか四つの年令の差で兄のような気分であつた。勉強をしよう。筆者などより以上の勉強をしよう。星霜を勉学一途に教壇に立たれた高潔な尊い人である。氏の海上保険講義をきき実社会に出た学徒はおよそ数千人あるいは万に達するかも知れない。みがきのかかつた保険論は尊い存在であることは今更いうまでもない。(保険毎日新聞所載)

合理化の底にある  
べきもの

渡辺泰助  
(昭一四)

産業の合理化や近代化が進んだのに、不況がひどくなる、というのでは、やりきれません。今の不況が、循環的なものよりは、構造的なものに根差している、といわれれば、なおさら、そう思わざるをえません。合理化は時代の要請です。ですから、私共はそれを当然必要なこととして受取つていきます。合理化という言葉に慣れてしまつて、あたりまえのことをやつてしまつて、過ぎない、と

思つています。しかし、よく考えてみますと、それは必ずしも、あたりまえのことではない。と思われるフシがあることに気がつきます。

合理化というのは、いいものを、安いコストで供給しようという考え方にもつづいていきます。そのため、手間やヒマをできるだけはぶき、能率を上げ、ムダをなくしようとする。大変結構なことですが、しかし、いくら時代の要請とはいへ、いいものを安く、というのは多分に虫のよい考え方です。決して安易にできることではありません。つまり、あたりまえのことではありません。

もともと、いいものは、手間やヒマのかつたものでした。いいかえれば、手間やヒマをかけなければ、いいものはできないとされてきたのです。あたりまえといへば、それがあたりまえでした。ところが、合理化といふことが、多く機械化を意味することからわかるように、機械の発達がこの虫のよい考え方を可能にし、あたりまえでないことを、あたりまえのことにしつづけています。

けれども、すべてがそうならつたのではありせん。むしろ、変わりつづけるのは、人間の生活や社会の全体から眺めれば、小さい部分かも知れません。たとえば、芸事(げいご)などについてはどうでしょうか。近頃では、詩や小説を合理的に大量生産している詩人や作家もいるとか聞きますが、それにしても、芸に達するためには、年季がいることは、誰しもが認めることである。それが、今日でも世間一般に通用して

いる常識です。ですから、こういう情況のもとでは、いくら機械が発達したという産業界においても、機械で置きかえることができない分野はまだ多いのです。いいものを安く、手間やヒマをかけないで、能率よくつくり出す、とする合理化という考え方は決してやすやすと達成できることではないと思われたいです。つまり、合理化は単純に合理的なことをしようとするのではなく、むしろ、その根底においては、無理なことをしようとするのだと考へられたい。いかえれば、合理化の根底には、無理という反対の作用、性格がある、といふことです。その無理をどうして合理的に無理でないものにするかが合理化の本質でしょうが、合理化をあたりまえのこととして考へるのではなく、無理なこととして考へるべきが必要だと思つて考へるべきです。

合理化の底には一つの無理があります。矛盾があります。それらはいろいろな形をとつてあらわれつづけています。たとえば、近代化にともなつて、人間の疎外という事態が生じています。また機械をもつて人間やヒマをばくというやり方は、人間の生き方に微妙な影響を与えています。一般に、辛い仕事をしようとするものはなくなつてきました。それが、あの、作家や詩人達にさえ影響を及ぼしていることは前に書きました。また、合理化の手段として設置された筈の機械や設備が、逆に、それ自らを維持するために、企業の規模や経営のペースを規制するものと

楽我記

なりませす。これらはすべて多かれ少なかれ、近代化や合理化にともなつてできた矛盾のあらわれといえましよう。機械で代置できる分野では、機械によつて合理化が達成されます。けれども他の分野では、何によつて、この合理化に対応して、新しく変化しつづける世界を築きうるのでしようか。それが十分形成されていなければ、いろいろな矛盾がでてきていと思われませす。最近、根性論が盛んです。それは、この精神の空白を埋める一つのものとしてでてきたのでしよう。合理化をあたりまえのこととして考へるのではなく、無理なこととして認識することが、かえつて合理化の矛盾を止揚するための第一歩になるのではないでしようか。(丸屋醸造株式会社)

誌上通信

拝啓!! 渡辺泰助殿

若山 永太郎  
(昭一三)

泰助殿 お互にお会いしたいと心に思ひながら仲々出合いが悪い。四年前は七月五日、母校五十周年記念式典の時に小生田舎で不幸のため、一日遅れて間に合はず、すでに貴君は小樽を離れていて、お会いできなかつた。

このたびの貴君との邂逅は七年ぶりで本当に嬉しかった。帰省中何よりの収穫であつた。

楽我記

会つた瞬間、全く驚いた。貴君は御先代渡辺佐助翁に大変よく似てきたことである。顔の容貌もさることながら身のこなし、そして話し方まで、応接な人柄、落ち着いた態度などまさに大人の風格をそなえてきた。青森財界の重鎮である今日、むべなるかなである。「どうしましやう! 若山さん」と奥から玄関に出てこられた御母堂にお会いするのは数年ぶりで、私の母にでも会つたような懐かしさが胸にこみ上げてきた。前にお目にかかつた時と少しも変わつておられない。しかも緑丘時代、三十年前であるが、その頃のイメージをくわつておられる。充分御健康に留意され、いついつまでも永生きされますよう祈つております。七年前貴君が来阪の折、奥さんが御病氣だと聞いていたが、このたびお会いすることができて、こんな嬉しいことはなかつた。御家庭も仲々御円満の様子、衷心よりお喜び申し上げます。

これも御先代の身をもつての御教訓を貴君が遵守されておられるものと拝察しました。浜町の「花村」でご歓待いただいた翌日(四月六日)、青森中央病院でドック入り中の安達猛先輩(昭和七年青和銀行専務)を訪ね、三十年ぶりにお会いしました。元氣一杯で青森財界では、緑丘同志が大活躍のこと聞き、大変嬉しく思ひました。最後に、釈迦に説法になるかも知れないが、最近読んだ書物の中から次の管仲の言を貴君に贈つて、「花



Helena Rubinstein

新会社設立の御挨拶

私は、世界の美容界に君臨するヘレナ・ルビンスタイン女史と数年に亘つて親しく交際してまいりましたが、このたび女史と提携し、日本に合弁会社を設立し、その社長を勤めることになりました。ヘレナ・ルビンスタイン化粧品は、世界で最も格調の高い化粧品として、ヨーロッパの王室、欧米の社交界から絶対的な信頼をえております。一度でも海外に行かれた方なら知らぬ人のない、伝統と名声につつまれた化粧品です。日本発売にあたっては、名品の香りを失わないように原料はフランスから輸入し、製造はスイス人の技師が担当しております。

みなさまの美しい奥様、お嬢さまにより一層美しくなつていただくために、お役に立つことを心から願つております。まず関東地区から発売を始めました。

東京都港区芝西久保桜川町6番地  
ヘレナ・ルビンスタイン株式会社  
社長 加地幸一(大12卒)





村」でこ馳走になつたお返しとした。西暦紀元前七世紀頃、中国山東省に強盛を誇つた齊の宰相管仲が、君主である桓公に君主の道を説き、次のように直言している。

◎君主が信頼されるには

- 一、人民から慕われる。
- 二、隣国から親しまれる。
- 三、そして、天下の人々から信頼される。

そのためには、自身の修養に努める。それから国を治める。最後に天下をまとめることである。

◎自身の修養とは……

- 一、身体に気をつけること。
- 二、度量を広くすること。
- 三、徳を積むこと。
- 四、血気にはやらないこと

◎国を治めるには……

- 一、遠近を問わず人材を集める。
- 二、人民を愛する。
- 三、滅んだ国を復興させる。
- 四、道徳のすたれた社会をつくりなおす。
- 五、国事に倒れた家臣の遺族を召抱える。
- 六、税金を軽くする。
- 七、刑罰を少くする。

貴君の真摯な事業経営の態度に、加えられつつある円熟味の妙々ともいよいよご発展されんことを祈っております。

青森の同窓各位にくれぐれもよろしくお伝え下さい。

昭和四十年四月十六日 敬具

### 日本人人口再生産率の世界最低を心配する

井上紫電 (元教授)

「優生保護法改正」の国会への請願書原案作成方依頼され、本職の余暇にこれと取り組んでおります。

「産制亡國論」以来次第にこの道に深入りし近頃準専門家(?)のみになつてしまいました。知れば知るほど捨ておけない実状です。

今や日本は純再生産率〇・八九という世界で最低の子の生み方(純再生産が一を割っている国は、日本のほかにはハンガリーの〇・九七というのが一國あるのみ)机の上の計算では一億の人口も三百年にして八十万に減るといふ。

最近韓国に出かけ、韓国人の人に接して日本に戻つたある外人神父の話では、韓国では近いうちに日本へどつと行けると心待ちにしているとのこと。(韓国では本年春国民学校入学者は、昨年のそれより三十六万人増えるという)他方例えは名古屋のトヨタ自動車工業では貿易自由化とともに労働力の自由化をせよ、朝鮮、台湾から労働移民を受け入れよ

と主張しております。知合いの婦人科医の話でも自分の病院で四、五人の子を生むのは韓国人だけだといっております。偏狭な民族主義を主張するわけではありませんが、現状を今後とも統括して参りますならば、日本は異民族にとつて代られることになりましよう。ただ差当り人口の自然増(昨年は約百万)があります。これは原価償却をしていない企業が過去の蓄積たる在庫品を売って利益を計上しているようなもの、在庫品がなくればどつとガタがくるのと同じ理窟でしょう。

国会方面に強いつながりをもっておられる苦米地先生が、私どもの主張に大いに共鳴下され、御支援を賜つておりますのは何よりも心強きことと感謝しております。

「産制亡國論」についてを御参考までにお送りしますが、このような薬が市販され、風邪薬などと同様に薬屋から入手して、人々が飲むようなことになつたら大変だとわれわれは心配しております。

### 貴重な地図

藝目英三 (昭一一)

昨年十一月福島県支部の招きで、東山温泉(吉川景亮氏昭一八経営)の総会に向つた。

朝六時半、目がさめると窓外の景色は冬枯れ、盤梯山は雪に覆われていた。会津若松の駅に降りた私は朝食を済ますと友人小野寺佐君宅に電話し、教えられた道順をタクシーにゆだねて訪問した。

朝早くから同君は採用女子従業員との面接をするので階下に降り、私はガストープで暖まった、ま新しい部屋でソファに足をのぼし朝日新聞に見入つた。郡山アルペンクラブのグループの大きな写真がいつの記事だったが、その中に男女コン浴場の地図がすでに幾千枚刷つたがすぐ飛ぶように売られて行つた。

### 「時事英語研究」(和文英訳) 39年度年間優秀賞入選 佐藤信雄(大12)

＜時限爆弾＞

飲み友だちを自宅へ送りどけた。案に相違して、彼の細君はニコニコ、そこで彼に「おい、よかつたな。」「なに、ちよつと早いんだ。君が帰つたころ爆発する。」

(毎日新聞うそくらぶ)

＜A Time-Bomp＞

I Saw a boon companion home to find his wife all smiles, contrary to my expectation. I said to him, "Oh, how lucky you are!" "Well, it's a little too early," Said my friend, "She'll blow up after you are gone"

これは貴重な資料であろう。初めて見る福島県。温泉と聞けば東山温泉の名より知らない私の興味をそつた。小野寺君の案内で会津観光をすませて、東山温泉会場に入る。

詩人三谷晃一君に会う事も出来た。今朝、朝日新聞で見た郡山アルペンクラブの話を読したら、同君の勤務する福島民報社で発刊している「ふくしま」の中に掲載されているので、送つて上げようとの事であった。

下に掲載のこの貴重な地図は若い緑丘人にも、年老いた緑丘人にも、そしてわれわれのような結婚二十五周年を迎えるものにもまんざら不要ではなからうと思ひ、あえてここに掲載した次第である。

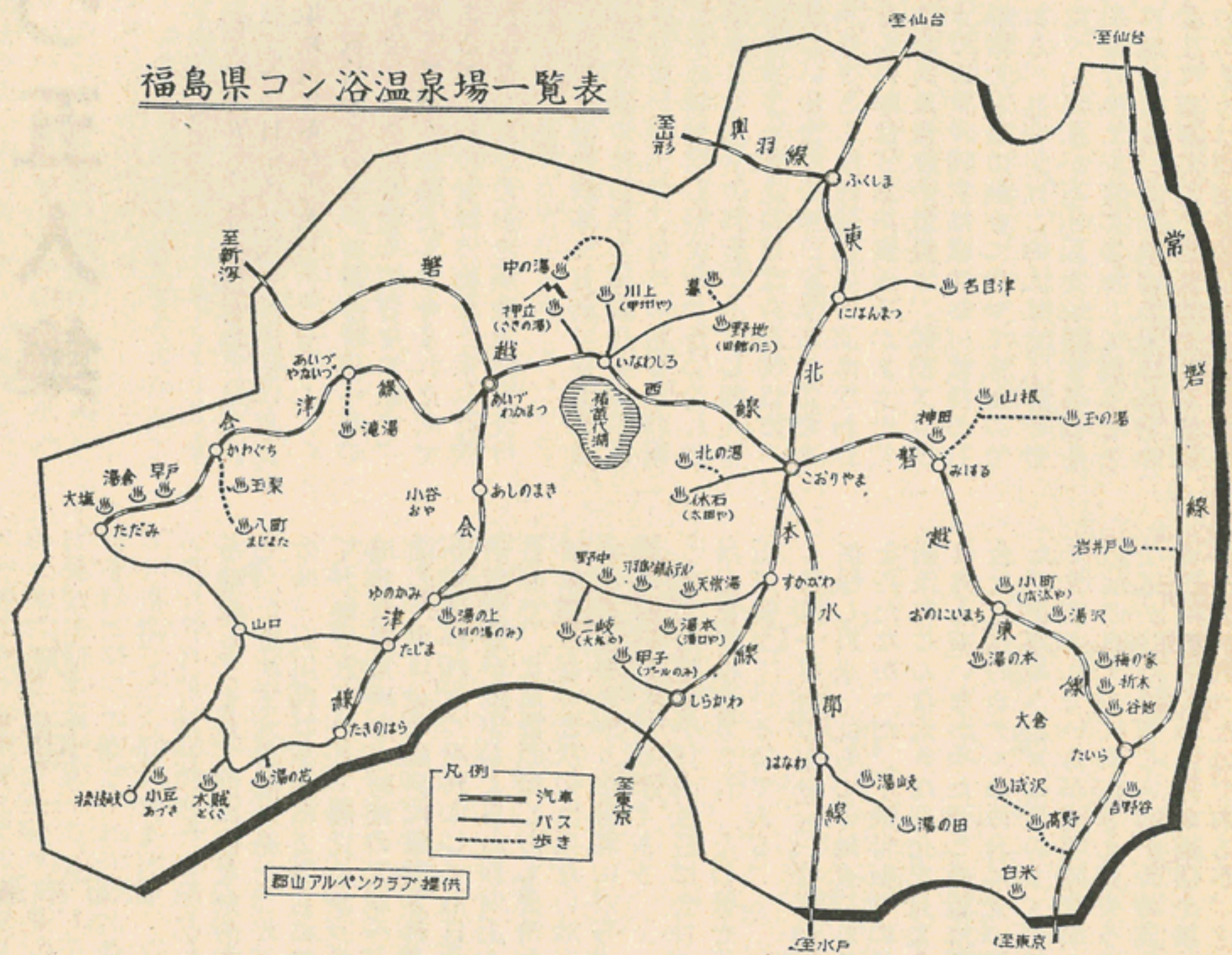
入手したこの地図にコン浴の定義がある。

△コン浴の定義▽

コン浴とは湯槽そのものにしきりがあつても間にささぎるものがない互に眺望よく、気がねなく楽しい雰囲気満喫し得る浴場をいう。とある。

もう一度くり返して読みましよう。うまい表現だ。こんなものを掲載して……と袖を引くものがある。「緑丘」は堅い許りが能じやない。新緑のグリーンデンウキークである。どうして寒いのだろう。湯ぎめかな。このような有益な「楽我記」を書く見本として且つ緑丘人のさそい水として敢えて紙面を汚した次第です。詳細は福島民報社三谷晃一君に聞いて下さい。

福島県コン浴温泉場一覧表



あらゆる建築設計・施工

暖冷房設備・空調設備  
給排水設備・衛生設備  
配管工事全般

## 日邦工業株式会社

取締役社長 井 葉 政 市  
相談役 宮 地 邦 介 (大11)

本社 大阪市西区南堀江1丁目3番地 電話大阪 (531) 代表 8461~5番  
出張所 堺市浜寺石津町東2丁目702番地 電話堺 (41) 0 7 7 6 番



# まんびつ五人集

## 金の浴槽

山中晴雄

(東京支部)

近頃の週刊誌に紹介され、訪れた人達の噂で金の風呂のホテルが有名になった。金で飾った類のものは聞いた事があるが、浴槽そのものが、品位二十二金、目方にして三十五貫、経費一億三千万円で作ったというから一寸王侯の榮華を想わせる。このホテルは伊豆船原にあって会社は富士観光という。

私は妻と早春の伊豆遊山を思い立ち下田を回って西海岸を走り土肥から船原ホテルに入った。このホテルへは金の風呂に惹かれた訳ではなく私共夫婦に取って忘れ得ぬ場所であるからである。と云って新婚旅行の場ではない。それは私がこの会社に關係を持ち、家族がこの地に住んだことがあるからである。

戦争が終つて昭和二十三年に会社の設立が目論まれ、発起人には未だ若き日の進藤孝二先輩も入り、その道の大家や実業界の有名入を含み、企画の中心になったのは進藤兄であった。私は創立總會直前に同社に出

向を命ぜられ、創立後社長には元満鉄總裁小日山直登氏を戴き私は専務取締役役に就任した。

戦前のこのホテルは狩野川へ注ぐ船原川の清流を聴く閑静な旅館で、作家等創作の場として好まれた所であるが、戦争を経て随分と荒れた状態になつていたのである。

当時は国内資本は貧弱で僅かの資金でも新米の会社では銀行も相手にされない時代で、色々の新しい計画も夢の域を脱し得なかつた。そののみか日常運営の資金に不足し個人金融で繋ぎを考へねばならぬ実情で、新しい資金源の獲得が焦眉の急であった。こんな時進藤兄の前に現われた人の中に、石川武義氏があつた。この人は現在の社長で、戦前アメリカでホテル経営に成功し、戦後の日本観光事業の調査にやつて来たのである。進藤兄はこの人に目をつけ、結局私が石川氏を説得する役を引受け漸く経営に参加して貰うことに成功した。石川氏の入社は経営の強化に寄与した。同氏の当時の経営の考え方は現実主義に徹し極めて地道なものであつた。

所がその後十数年を経たいま、この伊豆の山峡に新しい豪華なホテル

## 次回

太田山田村  
高橋村  
市立石橋

英治(昭二)  
博(昭一九)  
脩平(大四五)  
宏一郎(昭一四)  
市郎(昭一二)

を建設し、そして世に稀な金の風呂で人を驚かす大きな計画を実現したのは、石川氏の手腕によるもので高く評価されている。同氏のかつての地味な経営理念が時流の先制へと飛躍した事は金の風呂に象徴されるように思われる。それにしても日本の消費生活が思いもよらぬ程向上したもので、また贅の尽し方も異常なまでに昂じないし承知出来ない階層のあることもホテル経営者に限らず一般に知られている事である。

創立当時の小日山社長は会社の隆昌を見ずに他界され、その後を石川氏が襲つていたのである。

私は一年余で本社(三井船舶)に復帰し以来一度もこの地を訪れる機を持たなかつた。十数年振りに見る船原にこんな大きな変化を見ようと考へていながつた。この辺に不釣合な近代のホテルの偉容に先づ驚いた。往年のホテルはそのまゝの場所が改修されているが、当時馴染んだ以前のホテルは所在さえ見失うような気がした。新しいホテルの建つた場所には地元山持の商店や幾つかの人家があつたのであるが、之等の人々には色々の変転があつた様子である。

狩野川台風の時の船原川の川岸

## あるエピソード

相田正

(東京支部)

戦後の企業の代表によくホンダさんがいるいな意味で引合に出されるが、奇しくも私は本田さんが世に出られる前後に關係があつたので、そのエピソードを記し度い。

私が本田宗一郎氏を知つたのは、

ていたが、この工場には一驚した。製品は小さなビストロンクだが、何れも単能機械であり一人の女子工員が最低二台以上の機械を担当しており、それが全部自動機械で工員はただ素材を受合に入れるだけで、それも材料切れの少し前に赤ランプとブザーがなつて注意を喚起するようになっており、工員は機械の調子を見てくれるだけのものであつた。

聞けば何れも自家製機械である。余りの高効率と整然さに驚くと共にその一切を社長に報告した。その会社の事実上の社長が本田さんでありそれ以来会社の技術顧問として迎えられ、私は公私共に終戦迄御世話になつた。終戦後は一時さすがの本田さんも自分の会社に組合が出来、根からの技術屋であるだけに本田社長(終戦前に社長になつておられた)もおそらく嫌気がさされたのであらう。あつさりやめられてサテどうするかと言う時期があつたが、その当時はアメリカ軍が進駐して来て何をやらかすか解らず心ある人でも只茫然としていた時期であるが、そのとき、いまでも思ひ出す氏の言葉がある。「いかにアメちゃんでも日本人の考へ思考だけはもつて行けないよ。ぼくは彼等に負けないものを自分の頭で作りますよ。そしてそれをアメリカへ逆に輸出してやるんだ」と。

間もなく浜松の焼跡に小さなバタクがたち、その中からバタバタと称する自転車用エンジンが出来上つた。

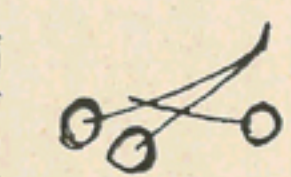
余談になるが私はホンダドリーム号の試作品に本田さんと乗つた部外者の最初の人でもあると自誇している。

次回は高山博君にお願いします。(昭一六 日本楽器勤務)

## 札幌勤め

吉田 莊太郎

(札幌支部)



第四寮時代の増田常さんからのパトシ渡しという事、のつびきならぬ氣持で原稿を書く事とした。

前号の特集号に続いて小林多喜二氏の事に触れるならば在校中何かで同氏の初期作品、荷風張りの短篇を読んだ、ぼんやりした記憶。その後卒業して売出し当時の「蟹工船」「不在地主」を読んで、その異色の同窓先輩に関心を向けたのを想出す。そしてその後の彼の左翼運動の情熱が如何にして培はれたものだらうか、なお、あの唐遇を免れて若し今日まで生涯を得て居たなら、その活動がどんな変遷と発展を辿つたものだらうか、異材の多い同窓の中にも殊に多彩な開花があつた事だらうかと想像して天折が惜まれる。

それに引較べると、われわれの緑丘生活は何に頭を使って過した事か、誠に無邪氣過ぎた氣がする。花園公園に於ける運動会で下級寮生を秋深き寒空に、黒のアンダーシャツ

日本楽器に入社して三年目の昭和十八年だつたと思う。当時会社は本業のピアノが軍の指示で極端に制限され漸く文部省の特殊技術保存の名目で僅かに工場の一隅でその余命を保つていた頃である。従つて私も入社一年は浜松本社に於て楽器の営業を担当したが、時代の交遷と共に用度課、機械係に廻された。

当時日本楽器は陸軍の飛行機のプロペラを生産しており、私はその金属切削用工作機械の購入を担当させられた訳だが、金属ペラの素材は当時貴重なジュラルミンで、その形状はおよそスマートな完成ペラのおもかげも偲び得ないような肉厚の棒状のもので、その切削には実に多大の時間と資材のムダがあつた。また、その機械も一般汎用機を使用していたため能率的ではなかつた。そこで何とかペラ専用の機械を作り能率的であるために完成ペラをモデルに機械自身がそれに倣つて自動的に切削するようなモデリングマシンを作ることになつた。その頃の国内有力機械メーカーには、その余力はなかつたので自家製作する事に決し適当な下請工場を物色することになり、私は市内の工場を犬棒式に廻つて歩いた。

ある日自動車等を使うビストロンクを製作している会社を訪れ、その工場を見てもらつた。私は機械を担当して日も浅かつたが軍の指定工場として入用な機械購入のため殆んど全国の有力メーカーの工場は廻つていたので素人なりに工場は知つ



近代的ホテルの出現、駅前通りの建設ブーム、路上の車の流れ等、都市の体裁は備わって来た。またシエックト時代は東京千歳間の空路を一時間に短縮したが問題は北海道全般の開発と文化的向上はどうかという事である。

ある論者は、その産業、文化の現状を評してシルクハットを被りながら裸足姿の紳士であるといった。なる程室蘭地区の重化学工業の水準、札幌市街一部の外観等は先づ全国的にも一流と云へるだろう。しかし道内全般の経済指数は、人口比率より全国比5%経済といはれながら仲々それにおよばぬものが多い。生活近代指数においては全国水準の約30%、ガス普及率約20%、道路舗装率30%といはれる。農業構造改造も人口転換はよいとしても比較的高学歴者、青年層の流出が特に多い傾向は仲々に多岐複雑な問題を残す。

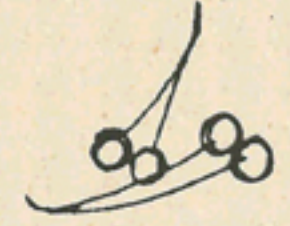
さて昨年は稀有の冷害にて農作物の被害も五〇〇億円余と唱えられた。全国的な景気沈滞に加えて道内経済への大計画である。「肌寒し島の豆が泣いてる太陽顔出せおして焼け付け」農家の娘の唱った大変切実なる歌も見た。今冬はまた異例の大雪、大雪豊年と行けばよいと願うが最近の札幌気象台予報では今夏も大体不順冷温という。

問題の多い北海道ではあるが吾国経済の安定成長には何んとしても長期的に立派な役割を果さねばならぬ大地である。夢の多い北海道に久し振りに住んで見て、若き日の吾身

を此地に走らせた何ものが此胸に蘇って来るのを覚えるのである。次は祐村脩平君にお願いしたい。(大正十五 三井物産取締役札幌支店長)

青島の緑丘人

岡本元次 (東京支部)



私は昭和十七年夏から一九九年春まで、青島にいた。東亜海運の支店に勤務の時代である。着任した時、会社の先輩や同僚から、日本郵船青島出張所長の市川正治さん(大六)が私と入れちがいに同社サイパン支店長に栄転され、この先輩に会えなかつたのは、私にとって大きな損失だと言った。その話によると市川さんは同業者の間で尊敬の的だったようだ。当時、サイパンのような要衝では、古武士といわれた市川さんのような人がどうしても必要なんだろうが、大変なことだと、みんなその将来の多難を氣遣っていた。余程信頼されていたことは、折にふれてきた人達の話振りでよくわかり、私には未知のこの先輩が大きな誇りであり、心の支えでもあった。その先輩は矢張り任地で戦死されたようだ。緑丘名簿では一九・八・一三亡くなったとある。惜しい人を早く失なつたと、会えずにまいの先輩をおもいだす。

東亜海運に関係のあった緑丘人をおけると、まずなんといっても海運界の大御所佐々木周一さんが理事、高階竜雄(市川さんと同期)、横山桂二両先輩、野上陽三郎、大河内時武、浜野静二、太宰曹徳の諸兄、植山直幸、二敷実両君は入社と同時に入営、勤務しなかつた。高階さんに本社で随分お世話になった。不幸亡くなったが、太宰君は学生時代秀才で鳴らしたそうで、会社でも評判がよかつた。植山、二敷両君の入社試験には私も一役買ひ、地獄で仏に会つた気持と感謝の手紙を貰つたがその時會つたきりで、二敷君は戦死してしまつた。

ところで青島生活であるが、この時代は実に楽しかつた。金森三郎(大阜銀行)、藤森一(青島火柴)、吉田莊太郎(三物)、蚊野俊夫(菱商)、石田平八(青島酒造)、大本良一(安宅)、斎藤(華北食糧平衡倉庫)の諸先輩、同期の小川正弥(正金)、それに後輩では渡辺正則(聯銀)、佐藤鉄男、矢野正康(華北交通)、河上敏夫(応召中・陸軍少尉)、坂本芳弘(華北車輛)の諸兄がいた。何しろ既に二〇年以上たつているので姓だけしか思い出せない人もあり、或いは間違っているかもしれない。

金森さんの音頭取りで、大体月一回集つた。私が幹事で、石田さんがお手の物の酒を前もって私の会社へ届けてくれた。毎回殆んど全員出席し、時には済南から、福原昌龍さん(華北交通)も参加され、賑やかだ

つた。外地で、しかも戦時の同窓の結びつきはなんとも心強かつた。そんな時、母校の南先生が、鮮満支人口行脚ということで一八年四月青島にお見えになつた。先生から予め旅行日程のお知らせを受け、満洲、北京の先輩から次々と電報連絡を貰ひ国民服にリユック姿の先生を卒業後初めて、それも外地で迎えた時はほんとうに感激だつた。魚岩という我々同窓がよく集つた料亭で、早速歓迎会を開いた。先生が経博の学位をとられたのは、この旅行の途次であつた。

やがて戦局は変わり、現地召集も日と共に多くなり、大本さんが応召され、間もなく私は本社に呼び戻された。快適な青島生活二年足らずの私には、その転勤が不服だつたが、後で考えると、そのために命があつたとも思はれないことはない。その当時の人には戦後金森、吉田、大本先輩に會つた。特に金森さんには、東亜海運が閉鎖機関になって転職した先の会社へ、私がいるとは御存じなく訪ねて来られて偶然会ひ、思はず抱きあつて周囲の人を驚かせた。また吉田さんとはこの漫筆欄に同一号で登場することになり、大本さんと、仕事の関係で何度かお会いした。石田先輩には私が大阪在住中は是非お会いしたいと思ひ、丁度牧野吉男先輩が北拓北浜支店長当時お世話になつており、一緒に訪ねようとは何度か電話して呉れたが、石田さんが御不在で遂に会えず今日まで失礼してあり、残念に思つている。

次は立石市郎君にお願いいたします。(昭一二 東栄段ボール株式会社)

藤原輝雄氏(昭22年)の死を悼む

我満博仁 (大阪支部)



この誌上をお借りして慎んで会員藤原輝雄氏の死去をお知らせ致します。

同氏は昭和二十二年春経専卒業と同時に、戦前生糸の輸出商社として海外に雄名を馳せた原株式会社(横浜)へ入社、昭和三十五年迄社務に精励されて来られました。化学繊維の急激なる伸張に押され、社業の斜陽に止むなく転身を決意され、貿易商社員としての十有余年の該博なる知識、卓越せる技量、貴重なる体験等を凡て抛たれ、家電業界の一員として日電家庭電器販売(大阪)に身を投ぜられ再出発なされた訳でございます。

しかし、その折の電気業界は時恰も揺籃期から動乱期へと移りつゝある過渡期でもありました。入社以来味われた労苦も並大抵の事ではなく、それこそ筆舌に尽くし難い研鑽努力の連続であつたと察せられます。

しかも同社の京都営業所の責任者としての重責を負い卒然垂死して日夜を分たず陣頭指揮を採られた結果、業績頓に華が更に一段と飛躍

向上の期された段階に於いて不幸病に冒され、遂に旧臘二十日齡僅か三十八才にて惜しまれつゝ不帰の客となられてしまいました。

誠に「好事魔多し」とでも申しましようか、物心共漸く安定を得られまた人間のにも氣の中にも漸次円熟味を加へられ、之から本格的な手腕を發揮されようとして居られた矢先丈に実に惜しみても余りある痛恨事でございます。

親分肌で太つ腹な反面、細心緻密であり、厳しさの中にユーモアをたやす事なく満ちたえ、人を引付けるSomethingを何時も雰囲気の中に漂よわせて居られた同氏……

私自身にとつて、同氏は学窓の先輩として丈に止らず、文行寮でも先輩であり、かつまた仕事上でも先輩上司でありました関係上、お交際も小樽時代、横浜、東京時代、そして大阪、京都時代と十数年の永きに亘り、文字通り裸の魂の触け合つた、お付き合いをさせて頂き陰に陽に随分お世話になりつづけました。

同氏を偲ぶ想い出として生前のエピソードを一、二紹介したいと思ひながら余り身が近過ぎた故か「凡ての事が想い出にたがなる」とでも申しましようか。「All or nothing」の心境で何もお伝へ出来ないのを残念且つ申訳なく思つております。

最後に此の欄上をお借りして同氏への追悼の意を込めた拙きうたを披露させていただきます。

痛恨賦  
大兄人生半ばに満たずして病魔に倒  
まんびつ五人集

る 悲しき哉  
北国に生を享け東国にて身を立て西国に栄えんとす  
されど雄途空しく挫折し妻子の胸に抱かれ  
遺骨となつて故郷へ帰る 恨めしき哉  
無情なり人生 只只 茫茫  
尚御遺族の方の消息に就きましては前号(四一)にて御紹介の通り生れ故郷の北海道江別市へ引揚げられましたので同窓其の他知己の方々で同地周辺へ行かれる機会でもございましたら、是非共にお立寄戴き、御尊父、未亡人ならびに遺子の方をお励げまして下さいますようお願い申上ます。

- 北海道江別市一番町二十五  
藤原愛子・雅博  
次回は市橋宏一郎氏(昭十四)にお願い致します。  
(昭二五年 日電家庭電器販売(株)京都営業所)

- (まんびつ執筆者)  
(客員) 松尾教授  
(大六) 高橋徹男、下吹越栄吉  
(大六) 八木康之助  
(大八) 伊東小四郎  
(大八) 戸井正三、大野純一、三好長次、増井得三、谷本朋次、郡菊之助、西村百太郎、松本義一、大山謙吉、広岡一男、福田誠、藤居元三  
(大九) 菅谷重平、奥村義信、小島憲市、奥田直  
(大一一) 宮地邦介、小橋庸三、杉山昌作、神沢重治、梶川亨司、功

刀素重  
(大一一) 田中弥三郎、塩谷精一郎  
大久保鹿式、大井義郎、渡辺一夫  
小河成美、池田繁正、田中実、穴釜升夫、玉井武、日南田美文、佐藤信雄、若林周五郎  
(大一一) 古関周蔵  
(大一一) ほろにが太郎、片岡亮一  
小武海鉄郎、松原治郎、森下弘、北村良吉、桐田鉄郎  
(大一一) 増田常次郎、中野清一、白木小一郎、近藤徳弥、津久井七雄、大平善梧、西野嘉一郎、竹内隆  
(昭二) 黒羽秀夫、牧野吉男、岡田政治郎、堂城不二人、友沢和一郎  
小貫武、手島恒二郎  
(昭三) 佐竹繁寿、樋山三郎  
(昭四) 小山健児、湊静男、高橋一男、玉井英雄、宇山慶三  
(昭五) 池田啓助、井藤久也、吉田友記、北村太治郎、横井七之助  
(昭七) 八家要  
(昭八) 土岐秀雄、本間広松、小池三郎、高見英雄、会津幸雄  
(昭一〇) 篠崎万治郎、若月雅司、北村匡弘  
(昭一一) 浅野潔、土屋龍郎、木下春雄、三崎嘉郎、島崎保信、中尾弘、中道良徳、川原俊一、松井要吉、進藤彰、越崎清二、中木平三郎、丸山一郎、紫竹亜津視、秋葉隆一郎、臺目英三、本間誠一、鎌田正三、木村頼雄、小林啓作、角谷栄作、上野茂  
(昭一二) 内藤好生、皆川莊一、西谷作太郎、矢野正郎、宮内美雄、木内武之助、牧田恒雄、本間英作、森川正明、石川孝一、浅田厚、岡田保司、山村太兵衛、佐々木成彰  
(昭一三) 江川裕一郎、若山永太郎、木村章三、山本俊雄、松ヶ野寿夫

- まんびつ五人集



# 僕の書齋



室 谷 邦 雄 (昭13)  
(日 本 銀 行)

はありません。その意味では私には書齋がないということになります。しかし書齋という言葉の意味は辞書により「書を読み、または物を書くための室」ということになっておきますので、その点では私には書齋が沢山あるといえます。

静かなところでなければ、本を読んだり、物を書いたりすることができないという人もありますが、幸か不幸か私は沢山の兄妹の長男に生れましたので、小さい時から騒々しい環境に育つたため、現代の「ナガラ族」学生と同じように、閑静でなくとも一向平気で、必要なときは、どこでもすぐ書齋にしてしまおうことができます。いたるところ書齋ありといえればオーバーですが、職場では事務室、通勤途中では車中、自宅では家族とともに居る居間が書齋というわけです。一般、サラリーマンはこの点ではみんな同じではないでしょうか。

折角のご指名なので、強いて私の書齋の特色を書いて見ることになります。私の書齋というよりも、書齋における私の様子ということになりましょうが、私は自宅で長時間にわたって、本を読んだり、物を書いたりするときは、二階にある六畳の客間兼用和室を使うことにしております。私は椅子に腰かけると長続きしませんので、すわることにしております。座ぶとんは原則として敷きません。机は家にある一番大きな座机を使います。参考書や資料類は坐ったままで手の届く範囲のところ

に予め並べて置きます。このような状態は紙屑屋の仕分け場のようなものです。妻はこれでよく仕事ができるものだとあきれかけております。私は私なりに結構仕事をしておるつもりです。

次に私の書棚には蔵書としては装釘した書籍はお恥かしい次第ですがあまりありません。幸い銀行に勤めているので、市販の書籍は職場の図書室のものを利用することで足りてきました。本というものは自分の持ち物でない方が早く読んでしまおうという気がします。本を集める趣味の人と読むだけでよい人とは自ら差があると思います。私は職場生活二十六年になります。この間十八回も転居しました。もし図書室利用の方針をとっていなかったならば、本の運搬で絶大な労力と費用をついやしていたことだろうと思います。

従って私の蔵書といえは市販してない印刷物やパンフレット、新聞切抜きといったようなものになります。これらの書類を収めるため、私は書齋の中に専用の押入れをつくって、棚を設けて整理することにしました。押入れの唐紙を開けたら書類ばかりという客間が私の書齋です。

## 緑丘会総会

### 東京で六月開催

#### 各支部も

#### 足なみそろろう

- 緑丘会総会・東京支部総会六月八日(火)東京ステーションホテル二階宴会場(午後五時半)
- 名古屋支部臨時総会六月九日(水)
- 大阪支部総会 六月十日(木)
- 神戸支部総会 六月十一日(金)
- 京都支部総会 六月十二日(土)

丸山弥、平木勇三、金垣英雄  
(昭一四) 伊原利勝、大沼誠治、北村幸、谷英純、沼田博、太田正勝、老岐幸雄、河西辰男、沢村重一、石黒政夫、北条恒一、三浦正、飛塚誠一、竹島篤二郎、金井勇、八木安、野村鉄太郎、福地貞雄、隈村久好、尾崎哲平、沢井道成、隈田鑽三  
(昭一六) 相原正美  
(昭一六後) 中村平之助、小林芳美、松村克己  
(昭一七) 榎谷真一、長尾昌弘、桑野泰次郎、阿部敬作、越智直行、山田光男  
(昭二二) 牧口富伍、リトル・ラン、ドナア、服部奎吾  
(昭二五) 北野巧  
(昭二九) 古内一成  
(昭三〇) 石津洋三  
(昭三一) 小田島和夫  
(昭三五) 佐藤良雄、本前勝支朗、長津行高、猪浦淳一  
(昭三六) 神田隆志

「僕の書齋」というテーマをいただきました。が、学者でもなく、文筆家でもない私は今まで生活のなかに書齋というものを意識して暮らしてこなかったため、あらためて書齋ということについて考えて見ましたが、どう考えても私は世間一般にいう書齋というものを持っていないように思います。

書齋といえは書棚に本が沢山きれいにならんでおり、閑静な部屋を頭に描くのが普通であります。が、私はそういった部屋を特別に持ったこと

## 新刊紹介



### 小樽・そこに生きる女性たち

#### 北海道の女

毎日誰れかが弁当のお菓を喰ひのこしてきては小母さんを悩ませる。「あんたたち一体なに喰わせればいいのさ。好きなもの言いなさい」といふ調子で、頭にくると算盤なんか忘れてしまうのだ。彼女はいまだに学生たちの嗜好の最小公倍数を発見できないのである。そのくせ、カドある日には五目飯などを山盛りにつけて「どうだね、美味いかね」と嬉しそうである。

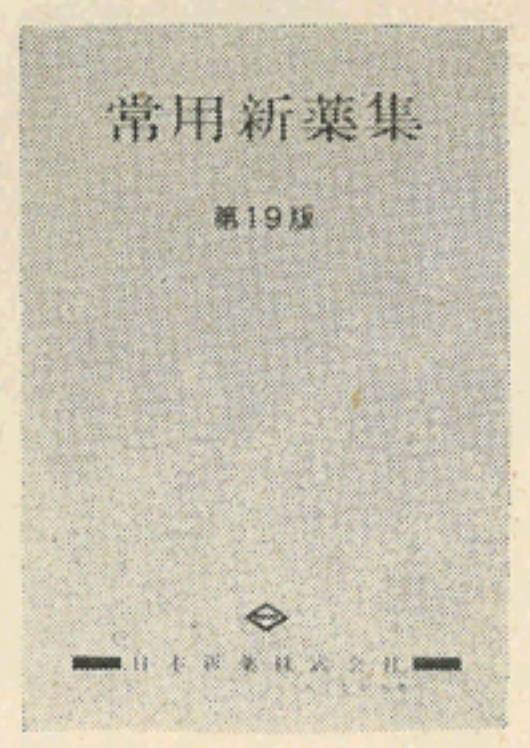
これは小樽透「小樽、そこに生きる女性たち」(北海道の女)の一節である。小林多喜二の「転形期の人々」の中で捉えた小樽の姿から書き起こし、古い小樽女性の見本、下宿のおばさんの姿を描いている。

潮見台のモッキリの末亡人と馬車追いの会話、いまではレストランの主人になっている果物露店の娘の傘の話、妙見川横の三人姉妹のお京おでんなど昭和八・九年の思い出をさ

この「北海道の女」の執筆者は北海道出身の作家更科源蔵、富樫首彦郎、沢田誠一、東野ひろ子、寺田京子、新妻博、中沢茂、木原直彦、佐藤喜一、小樽透らの十名が一章宛担当して、スキの女、さっぽろの女、島の娘、室蘭の女、道南の女、さいはての女、コタンの女、などを書いている。

小樽透とは昭一〇卒小梁川重彦氏、札幌市立図書館長としてよりも詩人として北海道では有名だ。

▽「北海道の女」二〇四頁・二五〇円・北書房 札幌市南三条西六丁目



## 常用新薬集第十九版

### 日本新薬株式会社発行

常用新薬集とは新薬の手引書である。開局薬剤師、病院勤務薬剤師、臨床医家はじめ製薬メーカーの学術関係者や薬学生は勿論のこと、相当数の従業員をもつ各会社には必ず一冊は備えて置いてよい新薬の案内書といえるだろう。

昨年十一月発売までの医薬品全般

を五〇音順に収載、付録には常用各種薬剤の一覧表としてトランキライザー、降圧利尿剤、副腎皮質ホルモン剤、冠拡張剤、抗生物質を詳細にまた見やすく表記してあり、医薬教育機関や製薬業者の一覧表や日本薬局方第一部医薬品の常用量、極量表を記してある。

この新薬集は第一版(明治四十四年)以来、改版を重ねてきた五十五年の古い歴史をもつ医薬品集である。

▽「常用新薬集」第十九版B6版五八〇頁、千円。日本新薬株式会社 東京都南区西大路通八条下ル

て厚さ一寸位の一冊が出来上りました。

これで未永く保存し、思い出しては往時の頁を繰って伴校長や浜林先生はじめ、諸先輩や学友諸賢を偲ぶことができるのを喜んでおります。

私の場合は印刷屋への指示が徹底しなかつたので、今後の追加挿みができるような金具を使ったところが、散逸の防止の目的には一応叶うものの、私のイメージをそこねたのは残念です。

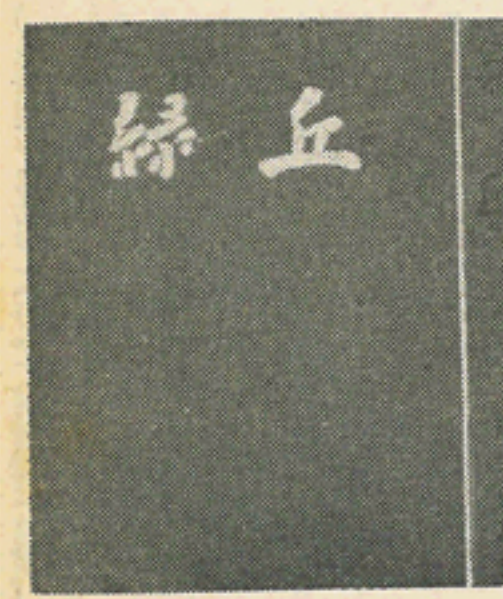
次の製本にはガッチリあの緑色の美しさを生かしたいと思っております。大阪の十日会の席に一度持参して皆様にお目につけようかと思っております。

## 緑丘綴じ込み表紙 申込受付

「緑丘」綴じ込み表紙ができています。三カ年分の「緑丘」を綴じ込めるよう計画しました。製本の表紙にもお使い下さい。

希望者は二〇〇円お送り下さい。

大阪市東区道修町三丁目 塩野義製薬株式会社 梶目英三宛





緑丘 余話

社団法人北方領土復帰期成同盟会長になる

三代校長 苫米地英俊氏

◇北方領土の復帰促進のため、任意団体として啓蒙活動を続けてきた「北方領土復帰期成同盟」は、外務省設置法第四条第二十六号に基づいて、近く全国初の北方領土関係の社団法人として認可されることに決まったが、町村知事や外務省の支持も受けて会長に就任することになった。初代の伊藤誠哉会長、二代の島善隣会長のおとを受け継いで、外交や領土問題の豊富な経験、知識を積極的に活用して、国内はもとより、対外的にも国民外交の先頭に立ってほしい、と期待する声強い。



◇領土問題をめぐる内外の情勢は終戦二十年をへて、大きく動き出している。昨年十月国連での北方領土帰属をめぐるソ連、露などの激論、中共の毛主席発言と対ソ警告、日ソ共同宣言十周年を控え両国友好増進の機運など、いずれも道民にとって関心事だ。国際政治の場での解決に負う部分が一層大きくなっているため、これからは目を広く海外に向けて、特にアジア・アフリカ諸国への働きかけが重要となる。その半面、かつての北方領土居住者も高齢化の傾向を強め、若い世代などの北方領土への関心は年々むしる薄れていく懸念すら出ているので、同盟としては強力な国民運動を盛り上げる必要性にも直面しているわけだ。学究的で、政治的に片寄らず、全国的にも名を知られているとして、この重責をになう新会長への前評判はまずまずのようだ。

去る二月十日、衆院予算委員会で非常警戒体制や仮想敵国、核持ち込みなどあらゆる伏線を張ったあとで、問題の「防衛図上研究」(三矢研究)をもち出し、我々を驚ろかせた岡田春夫氏(昭一二)は問題の極秘文書を手にしたのが三十九年十月、いろいろ信頼性の裏付けや計画に参加した八十四幹部の現況などの調査を精力的に行なったという。国会における彼の活躍舞台はなんといっても外交問題だ。三十四年のベトナム賠償問題では微に入り細をうがって質問を展開、ついに政府側に「詳しいことは知りません」といわせたことは語り草になっている。四月二十日の午後八時名古屋市金山体育館で開かれた日本社会党の演説会で三矢問題について演説中のところを最前列の日本同盟の一名におそいかゝられるという事件もあつたが、危害を受けなかつた事は何よりも幸いであつた。

「三矢研究」で波乱を巻き起した

社会党 岡田春夫(昭一二)代議士

外相顧問、移動大使などとなつた。長野県出身。(北海道新聞 三月十八日所載)

通信 緑丘



◇大阪支部は名物地獄会(昭和一年から四〇年までの演芸コンクールの会)が一回ぬけたので、その埋め合せを兼ね、来る七月一日日北大対緑丘の演芸タイトルマッチを計画している。◇六一五卒は今年で丁度卒業四〇周年を迎え、熱海・富士屋ホテルで五月二十二日、二十三日の二日間盛大な集会をもつた。集うもの二十六名。関東地区が主で大阪、三重、九州からも参加があつた。(詳細は次号で)

広瀬久一氏(昭二)

39年度北海道科学技術奨励賞に輝く

昭和三十四年「緑丘」七号で広瀬久一氏が全国發明協会実施賞を贈られたことを報告したが、去る二月十六日北海道科学技術奨励賞が決まり二十四日札幌市グランドホテルで授賞式が行われた。北海タイムスの報ずる所によると奨励賞は科学技術の研究を通じ道民生活向上につくしたものに贈られるものであるという。同氏は昭和二年卒業すると函館製網船具会社にはいり、漁網製造一筋に生きてきた。合成繊維が出廻るとこれに目をつけ、結び目の解けやすい合成繊維の弱点を克服し「合成繊維網の結節固定法」を發明した。このほか、合成繊維漁網の製造法など多くの特許をとり、最近ではアメリカ、カナダ、ノルウェー、ソ連、東南アジアなど海外にも同社の漁網を輸出し、外貨獲得に一役買っている同氏は函館製網船具会社取締役

緑丘

Advertisement for the 39th Hokkaido Science and Technology Encouragement Award. It features a grid of photos of award winners and their names, including '下田氏ら四人' (Four Mr. Shimoda) and '最低十二万' (Minimum 120,000).

年を迎え、熱海・富士屋ホテルで五月二十二日、二十三日の二日間盛大な集会をもつた。集うもの二十六名。関東地区が主で大阪、三重、九州からも参加があつた。(詳細は次号で) ◇京都・神戸・大阪支部の新しい名簿が出来上りました。実費二〇〇円で頒布中。希望者は大阪市東区豊後町四一九嘉機械佛若山幹事長宛申込まれたし。 ◇南亮三郎元教授(中央大学教授)は四月二十七日エア・フランス機で外遊の旅に立った。予定は約半年。往路はイスラエル、ギリシヤ、帰路は東欧、ソ連、インドなどを巡遊しまた今秋九月ユーゴのベルグラード市で開かれる国連主催の世界人口会議に出席の予定。(パリ滞在先) Hotel Lavoisier, 21 Rue Lavoisier, Paris (8e)

かた。加茂学長は「自由の精神と、がんばりの精神を持って学問をきわめ真実を追究してほしい」と激励する。 ◇名古屋金曜会(昭三三―四〇)栄町「茶ばしら」で十六名が集り、大一三卒蓮田勉二氏を迎えて平和の女神碑について座談会を開く。 ◇産経新聞にサラリーマンという特集ページがある。四月二十三日「八年間続いた誕生会」という丸嘉機械佛を紹介した記事がでた。同社専務若山永太郎氏(昭一三)「大阪支部幹事長」がこの誕生会を八年前から実施してきたものである。「コーヒー一杯で百万円の記事中広告が出来たよ。アハハア」という彼の豪傑笑い。何か秘ケツがありそうだ。 ◇小樽一札幌間(小樽から車で十五分)海の見える住宅丘陵。一、〇六四坪(一括購入坪六千円)宅地七五〇坪(分替坪)八千五百円)上手に札幌高速道路工事予定。投資最適。緑丘人所有地。希望者は編集部まで。

Advertisement for a real estate listing in Ishikari, featuring a photo of a house and text describing the property and its location near the sea.



# 昭和39年度 第4回 観光研究論文に再び受賞

## 奨励賞 日本交通公社賞の小田島和夫氏 (昭31)

### 観光開発の手法について

#### 観光開発手法の体系的

#### 類型分類の考察を中心として

(論文要旨)

小田島和夫氏(昭三一日本新薬株式会社)は昨年度の観光事業会長賞に続いて今年度は日本交通公社賞を受賞した。



観光開発を方向づけるものは基本的に観光需要の質と量であるが、それを可能ならしめるものとして交通手段の飛躍的発達があげられる。観光資源を分類すれば自然資源、文化資源、施設資源、産業資源となるが、これら観光資源は観光立地条件のダイナミックな変化により今やその資源価値が再評価さるべき時期にきている。

観光開発方向策定にあたっては観光立地条件の巨視的、動態的把握としての大勢認識と微視的、静態的把握としての地域特性認識が要請されそれを基礎として自己企業力検討の上に観光開発ビジョンの作成が必要である。無秩序な観光開発を排するために各主体の開発理念の統一と役割認識が効率的な観光開発を進めるには観光事業要素間の投資バランスを考えるミックス論的視点を必要とする。

本稿では先づ観光開発手法の体系的把握の試みとしては観光事業要素

別と、観光資源対象別とに分け、手法の特色と問題点について考察した。要素別にみた場合は観光市場開発手法としての観光客の欲求ならびに動態調査統計の整備および観光宣伝、交通手段開発手法としての新路線の開発計画、観光地開発手法としての収益性の具体的、数値的検討が特に問題となる。資源対象別にみた場合はそれぞれ開発重点に差異がみられる。すなわち自然資源は道路開発、文化資源は観光客の大量処理方式、施設資源は造成適地の選定、産業資源は観光客の把握誘致政策に手法の重点指向が必要である。

次に以上の手法を総合的に考え、類型分類の視角から新しい観光開発手法を考察すると

- (一) 遠心型開発手法
  - (二) 交通拠点型開発手法
  - (三) 複合観光資源型開発手法
  - (四) 観光ルート化型開発手法
- に分けうるが、要は時流に適した又効率的な観光開発を行うためには観光開発の在り方や手法について絶えざる反省と検討が要請される。



### 異動

- 福島常弘(昭一) 吉小牧港開発株式会社北海道事業所総務部(三菱鉱業株)
- 北海道吉小牧市中野町六四番地 和田昌雄(昭二三)
- 三井銀行本店業務合理化室(三井銀行大阪支店) 小林正雄(昭八)
- NHK札幌中央放送局総務部長(同加入部長) 会津幸雄(昭八)
- 舞鶴重工専務取締役舞鶴造船所長(日立造船社長室長) 舞鶴市宇余部 忠善男(昭一六後)
- 第一銀行笹塚支店(同行馬喰町支店) 東京都渋谷区笹塚一丁目五七 高原一雄(昭二〇)
- 北陸銀行北見支店長(同行今里支店) 北見市北一条西二丁目一番地 和田益太郎(昭一三)
- 兼松株式会社岡山出張所長(同大阪支社内地織維製品第一部) 岡山市田町一丁目三(岡山県産業会館) 安在七郎(昭五)
- 日本生命取締役経理部長(大阪営業局長) 梅原音二(昭一一)
- 三菱地所人事部長 湊静男(昭三)
- 神戸製鋼所常務取締役関連企業担当(財務担当)

- 高見美雄(昭八) 北海道拓殖銀行調査役(同行名古屋支店長) 永井久(昭八)
- 三國工業株式会社札幌営業所(国鉄バス札幌営業所長) 札幌市北四条西七丁目一番地 国安猛司(昭一一)
- 国鉄北海道支社営業管理課長(旭川鉄道管理局文書課勤務) 谷口輝時(昭三六)
- 日立月販機大宮出張所(同社宇都宮出張所) 埼玉県大宮市東大成町二四六 大友良治(昭一七)
- 安田生命神田営業所(新住所一東京千代田区神田鍛冶町二の一東京建物神田ビル) 大根一夫(昭一七)
- 日本生命保険外務企画課(同社明石支社) 小林稔(昭二八)
- 松下電器産業機器東京営業本部(北海道営業所) 浜浦英祐(昭四)
- 神奈川電気へ出向(三菱電機東京商品営業所長) 梅津正一(昭八)
- 美唄市東一条南四丁目 美唄市東一条南四丁目 石黒政夫(昭一四)
- 野村証券取締役投資信託部長(公社債引受部長) 中村平之助(昭一六後)
- 株式会社ワコールファンデーション部長(京都支店) 湊富美男(昭八)
- 名古屋市中区新栄町一丁目六番地

### 住所変更

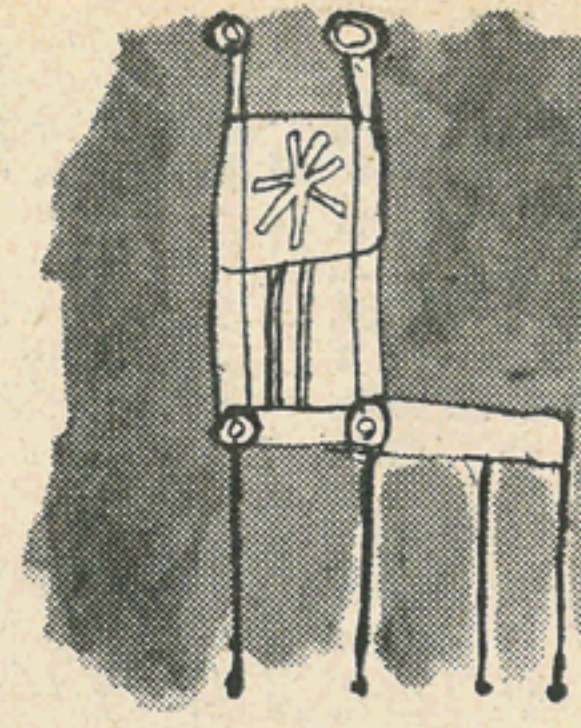
- 昭和石油株式会社名古屋営業所 矢野正郎(昭一一)
- 京阪神急行電鉄株式会社調査室次長 大阪市北区角田町航空ビル内 梅野弥太郎(昭九)
- 北海道銀行大阪事務所(釧路支店) 川岸己代治(昭一〇)
- 生命保険文化研究所東京事務所(東京都中央区八重洲六の一日本生命旗町ビル) 上埜敏夫(昭一一)
- 金沢市南町七三 日本長期信用銀行金沢支店 中野清一(昭一五)
- 立命館大学産業社会学部(広島大学) 相馬庄之助(昭一六後)
- 東京都麻布島居坂一 島居坂マンション内 福島常弘(昭一一)
- 北海道吉小牧市明野九番地 吉小牧港開発株式会社宅宅二七号 小林正雄(昭八)
- 札幌市宮ヶ丘四二八 杉山力(昭四)
- 東京都北多摩郡狛江町猪方二八三 佐々木八郎(昭八)
- 酒田市住吉町二一一九 福田勇一郎(昭一三)
- 藤沢市辻堂太平台五一八六 国安猛司(昭一一)
- 札幌市北十条東六丁目国鉄アパート二一三三号の二〇一 谷口輝時(昭三六)
- 大宮市土呂町一〇四 青木慎吾(昭一)

- 東京都練馬区上石神井一の三二六 大根一夫(昭一七)
- 尼崎市東園田四丁目一五九一一〇 小林稔(昭二八)
- 東京都板橋区東新町一ノ三六松下社宅板橋荘 山口保栄(昭九)
- 神奈川県逗子七丁目七番一六号 松岡俊一(昭一一)
- 西宮市愛宕山三九番の五九 吉田莊太郎(昭一五)
- 札幌市北四条西一五丁目 川岸己代治(昭一〇)
- 東京都渋谷区大山町二四の五 田中三郎(昭一一)
- 埼玉県入間郡福岡町大字福岡一三九八 山崎真治(昭三一)
- 東京都小平市喜平町八六〇ノ一 日本住宅公団小平団地三番一四棟一〇一号 中野清一(昭一五)
- 京都市伏見区桃山毛利長門西町六二 菱田栄次方 坂井喜一(昭一四)
- 東京都中野区松ヶ丘二の一の二 石川秀雄(昭五)
- 東京都国分寺市国分寺一六九九一三〇

- 立原力(昭一三) 四月三十日胃ガンのため逝去、在札同期生有志数名で送る
- 下山勝康(昭二) 三月十六日逝去
- 佐藤宮二(昭一一) 二月二十日逝去
- 桑野秀治郎(昭一五) 四月十七日逝去



# 東京 緑丘十日会



第一三三回

緑丘十日会二月例会

日時 二月十日午後六時  
場所 日比谷 日生劇場

昭和三年卒業の方々が当番幹事で今回は趣向を変えて日生劇場、俳優座提携による「ハムレット」の観劇会を催しました。  
御承知の通り、この公演はシェイクスピア生誕四百年を記念し、昨年六月上演され日本の舞台史上最高の「ハムレット」といはれ、今回の再演となったものであります。  
企画がよろしかったためか参加者

四十二名で近頃ない盛況でした。絢爛の舞台に繰りひろげられる豪華キヤスト俳優座全員の演技にシェイクスピア劇を堪能しました。  
午後七時半からの幕間に日生会館八階の談話室で一献傾けつゝ、食事を共にし和気霽々の裡に勧談詢に楽しい一夜を過ぎ十時過ぎ帰路についた。

出席者

- 大三 宮崎 省三、下吹越栄吉
- 大四 佐々木周一、上村甚四郎
- 大五 青田 滝蔵
- 大八 間室 守親
- 大九 板倉 誠
- 大十 鈴木 敬吉
- 大十一 小橋 庸三、大場寅太郎
- 大十二 加地 幸一、小沼 武文
- 大十三 谷 弥太郎、古閑 周蔵
- 大十五 神田 正英
- 昭二 武内 武一、小貫 武
- 長野 真士
- 昭三 武岡 嘉一、佐竹 繁寿、道善 宇内、甲斐啓一郎、久保 亮、佐藤純一郎

- 馬場 光雄、加藤羽衣松
- 昭五 小林 孝平、野坂和太郎
- 昭六 越前谷順治、渡辺 勘吉
- 昭八 西堀 房夫
- 昭十一 八木 勇平、能沢 正義
- 昭十二 高橋 亘、高木 重信
- 昭十三 石川 孝一、矢野 正郎
- 金垣 英雄

## 苦米地英俊先生特集号

原稿募集  
「緑丘」編集部と協力して苦米地英俊先生特集号を計画していただきますので、振って原稿御応募下さい。  
(宛先) 七月三十一日  
集部 東京支部事務局又は編集部

新春に放つ二大公演！  
日本の舞台史上最高の「ハムレット」を絶頂を誇る豪華大作 堂々再演！  
2月2日(日) 27日  
前売券開始 1月12日  
神代遠矢  
3月3日(日) 29日  
孔雀館  
日生劇場 NISSEI THEATRE

# 在札幌 昭八会

日時 40・3・13(土)、14(日)  
場所 札幌市定山溪 溪雲荘



写真(何れも左から) 前列 藤田、能沢、佐藤(功)、河村、名雲、永井(久)  
中列 川田、石崎、森(隆)、中野、岩崎、山本(繁)、山本(正)  
後列 井須、横山(秀)、山崎、近江、鈴木(三)、美浪、根元、品田

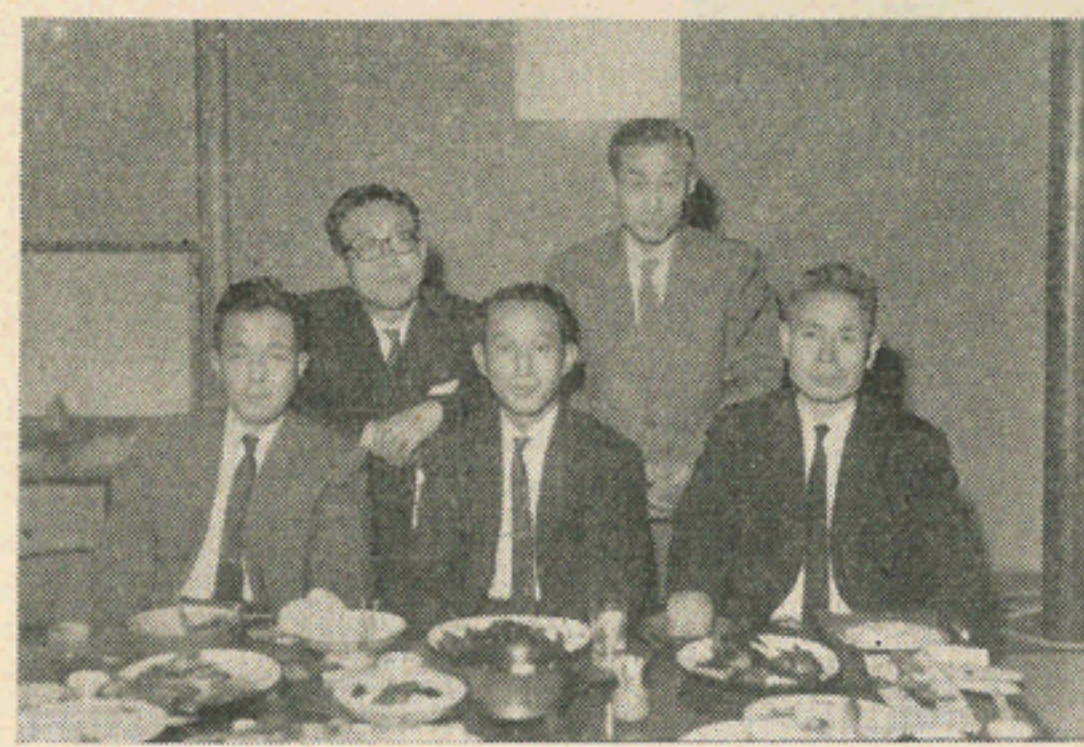
北海道の今冬は二月になってから数年来の大雪山、昨冬にならって雪の湯の町定山溪に会場を求めて、昨年六月小樽の朝里温泉での会合以来久しぶりに開催。東京から出張の名雲、能沢君、さい果ての地釧路から河村君、室蘭からは根元君が参加。

お互いに昭和五年の四月、緑丘に集まって以来、満三十五年の交友、子供や孫の話も出て酒量に正比例するかのようになり、珍芸、かくし芸を演ずる者もあり、想いはみんな隣の街「小樽」へ。朝食時も慣例のように一同愉快な一とき。次会を楽しみに十時散会。なお、協議事項の左記二件は往路バス(貸切)の中で一同承認しました。  
一、「緑丘昭八会基金」の件

# 在名古屋 昭八会

日時 昭和四十年天皇誕生日  
場所 名古屋七本町寸楽園

名古屋での昭八会は、誠に久しぶり。小樽からたまたま鈴木三七君が故郷の愛知県渥美町へ十一年ぶりの展覧の機に来名之を機に四人(全部)が集りました。  
お互いに昭和五年四月、遠く緑丘に笈を負って以来満三十五年の交友、



写真(右より) 前列 木藤名寿成、鈴木 三七、田中 滝一  
後列 西浦 謙一、湊 富美男

かつて紅顔時代を過ぎた小樽の街、緑丘学園を回想し乍らいろいろな話題に花を咲かせました。  
かつての陸軍衛生兵、小生の「医薬漫談」をお互いに傾聴する年配になったことを感じ、今後もお互いに健闘、再会を楽しみに心から愉快な一ときをその名も「寸楽園」で過ごしました。(田中記)

**緑丘昭八会基金について**  
昭和五年四月各地から緑丘に集り、三年の青春を小樽の街で過ごし、昭和八年三月、雪の学園を後にし、昭八の名の同期生は現在一三四名になりました。  
このたび同期の有志相諮り、同行がこれらも一層親睦をはかっ、行をたため「緑丘昭八会基金」(次記)を作りたいと思ひますので、ご賛同の上、拠出下さるようお願い致します。

**記**  
一、納金額 各自金貳千円也  
二、送金方法 昭和三十五年六月末日、名古屋銀行本店に在りて、北海道銀行、札幌市三丁目口座、其他在住者：北海道拓殖銀行、橋支店、住者：北海道拓殖銀行、一、緑丘昭八会「宇尾五郎口座」  
三、適時同期生名簿等の作成、配布  
四、卒業生三十五年記念全国クラブ会費(昭和四十二年開催)又ハ、これに準ずるクラブ会費等の費用、おおよび同夫人に対する慶弔費その他

就きまして、右の目的のイ、ロに副四十年六月現在)を作成配布いたし、ますので、至急御連絡下さい。

耐酸 耐蝕 滲鉛加工 鉛工事一般

# 日本滲鉛工業株式会社

会長 大久保 鹿 式 (大正12年卒)

大阪市東淀川区木川西ノ町六丁目五  
電話 三国 (392) 1 1 5 1 (代表)



大阪十日会 (4月例会)

第二回緑丘会 (大阪支部) 関西エルム会 (北大)

合同懇親会開く 嵐山(京都)で 4月9日



嵐山の春は例年になく、冷えびえとして桜にはまだ早かった。昨夜の雨で新芽が濡れ、四月九日の午後はカラリと晴れ上って、嵐山の緑が大堰川の清流に映えて美しかった。

第二回緑丘会、関西エルム会の合同懇親会は両幹事の協力で行われ、北大側の御世話で嵐山中山邸(天龍寺南門近く、千数百坪の大庭園を望む)が選ばれた。

定刻四時には三十余名の両会員有

志が集った。中山邸園で記念撮影。一同揃って大広間に着席。

川田幹事(北大)の司会で、石田平八大阪支部長から挨拶があった。北海道で学んだ私たちはエルム会と緑丘会が提携させていただくことを喜んでおります、と。

大正五年札幌農学校卒業のエルム会大御所並河功(京大名誉教授)先生が北大農学部は昔 Agricultural Departmentといわれて居ったが小樽高商は Commercial Department であるに Agriculture Commercial Department が集まって、同窓会の感があります。自画自讃(とも喰い)の感がありますが、本日の会場設営に小泉、中尾、川田三氏の御協力を得た事を感謝すると共にサッポロビールから沢山の御寄贈をいただいた事も、あわせて御礼申し上げます。松山サッポロビール社長も東京から参加されましたので御紹介申し上げます。

同氏は柔道部(北大)の大先輩であり、黒百合会(美術部)の創設者でもあります。今やチャーター会の重鎮であり、画集



庭に遊ぶ緑丘人

を発売、今日も京都の写生に行っておられたと聞いております。と挨拶。松山社長は続いて、この会合のあること聞いて喜んで参加しました。小樽高商とは学生時代に柔道の試合をした事があり、羽島甲斐雄キヤプテンの時で審判は苦米地英俊先生、中学時代苦米地先生に柔道を教えていただいた因念浅からざるものあることを語る。

緑丘側から乾杯との申出あり、墓目副支部長立って両会を祝福して乾杯。京の料理に器も京都。京美人のお酌もまた京なればこそ……。

嵐山の夕ぐれせまるころ、緑丘側

から自己紹介を、若山幹事長の紹介ですすみ、エルム会側に移る。スピーチな自己紹介がすみ、なごやかな懇談に入る。

エルム会美声NO1大正八年卒の沢田徳蔵さんの追分、郷愁をさそい場内しばし静寂。緑丘側は「ヒキメ」と声がかかる。正調ソーラン節、道産ツ子のノドの良さ、神戸サッポロ会でも優賞しただけあって、たちまち場内より拍手手が唱和される。

続くは緑丘京都支部の中村平之助さん故郷の唄「スワ小唄」を美しく唄う。エルム会、緑丘会交互に続いて美声を披露する。次々名刺交換で席を立ち、エルム会も緑丘会も自席をあけ、空いた席で杯をかかず。

緑丘側若山幹事長出席途中でサッポロ炭木工場で仕入れて来た新発売サッポロポナーサや、サッポロポストライク、の蓋の仕かけを宣伝。サッポロポストライクの追加を催促したの

感あり、ぞくぞくストライクが運ばれて来る。

会場設営の小泉さん(予科大一五)がこの辺りでこの邸と天龍寺冠塚(カヌメリゾカ)を解説して下さい。天下に志を得ば嵐山に遊ばん。志を失はば嵐山にかくれん。北大恵迪寮歌の作者松山茂助さんをたぐえ、エルム会総立ちで歌うは明治四十四年寮歌「藻岩の緑」

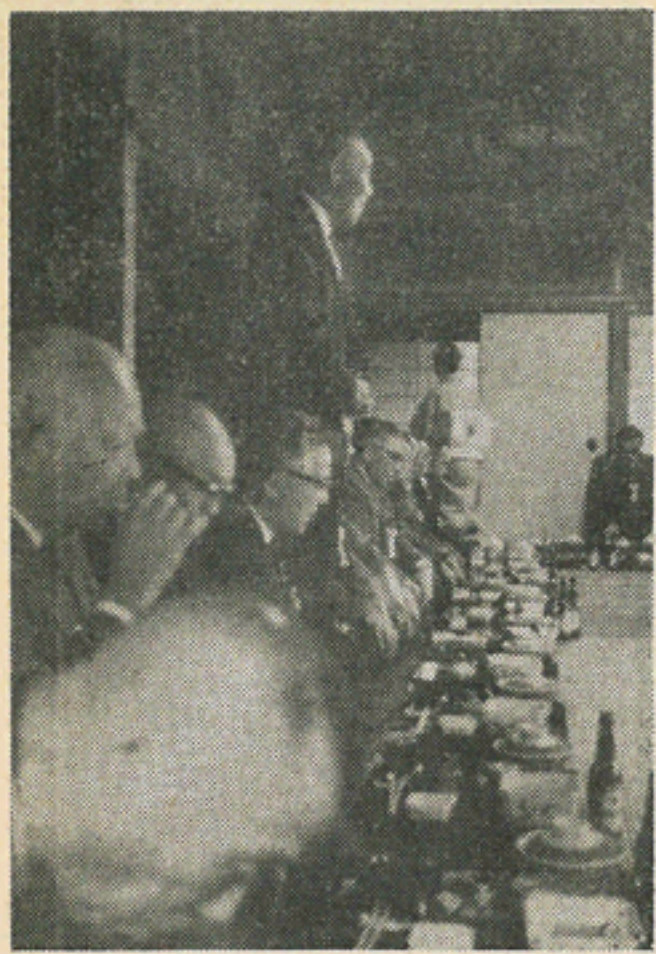
藻岩の緑春たけて  
萬朶一朶の朝霞  
あこがれあやと流れては  
花皆奇しき香ならずや  
若き血潮の躍る時  
希望の前途光あり

緑丘会も行進歌を合唱して、第二回緑丘会、関西エルム会合同懇親会も

エルム会側の松山茂助氏の万才三唱で幕を閉じた。(角响記)

《出席者》

大阪支部  
(大一一) 杉山昌作、宮地邦介、四谷宗義  
(大一二) 大久保鹿次、大竹政雄  
(昭二) 石田平八  
(昭五) 堀池善弥  
(昭九) 梅野弥太郎  
(昭一〇) 大島三郎  
(昭一一) 墓目英三  
(昭一三) 若山永太郎  
(昭一四) 市橋宏一郎  
(昭三四) 角响  
京都支部  
(昭一二) 山村太兵衛  
(昭一六) 中村平之助



松山茂助氏の挨拶

《関西エルム会》出席者

森川君清	島高小	中岡名	天松沢日	並松中	氏名	学部・卒業年度	勤務先
田島水山	木泉井	尾村倉	野村田	田河山島			
一米政正	秀仁静	正毅	徳光	茂鎮			
雄蔵俊夫	実太郎	雄実家	清彦達	敏功助			
農文工工	理工農	工農工	農医農	北農北			
農・農	土物	機機林	土經	農生			
農化	木	械械木					
昭七	昭九	昭八	昭五	昭三	昭二	昭一	昭二
七	六	九	八	五	五	四	三
日本新薬	北海道銀行	日本揮発油	京都大学	大阪府工業所	大阪府工業所	大阪府工業所	大阪府工業所



関西エルム会 北大寮歌合唱



緑丘会 行進歌合唱



# 若松清太郎元教授を囲む 「若みどり会」(鳥取県)誕生

S. 40. 4. 3~4



(前列左から) 石井登、宇野田猪之吉、若松先生、山里豊、村岡英一  
(中列) 山田善之助、山家利典  
(後列) 藤井幸男、宮内美雄、和田善四郎

「若松先生を囲む緑丘有志のつどい」年次の別もなく地域の制約もなく只々飄々として集り先生と語り緑丘生活を追憶する会が四月三、四日松崎温泉鶴の湯旅館にて忽然として開催され即席に会名を若みどり会と命名し今後の再会が約束された。この日若松先生を中心に集う者宇野田猪之吉氏「大七鳥取市」の最長老を筆頭に

山里 豊氏(昭3米子市)  
石井 登氏(昭6大坂市)  
村岡 英一氏(昭8鳥取市)  
山田善之助氏(昭9鶴の湯館主)  
藤井 幸男氏(昭9大坂市)  
宮内 美雄氏(昭12高知市)を最  
遠隔参加者として迎へ更に  
和田善四郎氏(昭13姫路市)  
山家 利典氏(昭13大坂市)を加  
へ総勢10名となった。

この日は余程の吉日と見え参加予定であった次の各氏はそれぞれ結婚婚約人ライオンズクラブ認証式出席等のためあたら不参加となった。

尾崎 央男氏(昭9児島市)  
木村 実氏(昭13姫路市)  
和田益太郎氏(昭13岡山市)  
富永 徳氏(昭13津山市)  
高田 甫氏(昭15大坂市)

がこの僻地の地山陰にも緑丘活動のつくつく帽子が雪の下の大地を突き破って燃え上ったのである。

忽然として……とは申し条その中味は決して忽然とも云へないので若干の註釈を加へなければなるまい。

若松先生一寮在監中の當時先生を一番手古摺らせた寮生それは自他共に許す藤井幸男君(前記)その人である。彼はかねがね若松先

生の寄る年波に比例して頭に来ていた模様であるが今年二月若松先生と因縁浅からぬ阪山家利典氏(前記)と相謀り先生を困らせたと思われる面々に呼びかけ、その波紋の輪が意外の処にまで拡がり今回の集いの発端となったものである。

もつとも緑丘1月31日号村岡氏の若松先生訪問記にも少々刺戟された形跡もあるので謂わばその源流は昨年11月7、8日の中国、四国緑丘大会の刺戟も無視出来ないようである。

さて前置が長すぎた嫌があるので先づ若松先生のご健在を第一番に報告しよう。

その先生の人徳が求心力となって姫路、大阪は勿論遠く宮内氏が四国は高知から又山里氏が長期病床の身を敢えて遠き米子市より参加されるなどドラマチックなムードのうちに会は幕があげられた。

先づ山家氏会の進行係を自ら買って出れば藤井氏一同を代表しての挨拶と若松先生への記念品の贈呈と滞りなく進められ、老松とは云へ元気な若松先生は謝辞の半ばに声はうるみ眼頭に白い露が光る光景など列席一同胸のこみあげる場面が展開された。

が宇野田老の発声にて乾杯一声に及べば祝宴俄かに酣となり参加全員交々自己紹介と若松先生の思い出を中心とした緑丘の追憶が三〇年、四〇年の昔をこの会場一面に繰り拡げたのである。

曰く、トマさん、ハマさん、糸はん、賢ちゃん、亮さん、純ちゃん、果ては二寮のガンちゃんなど、教授

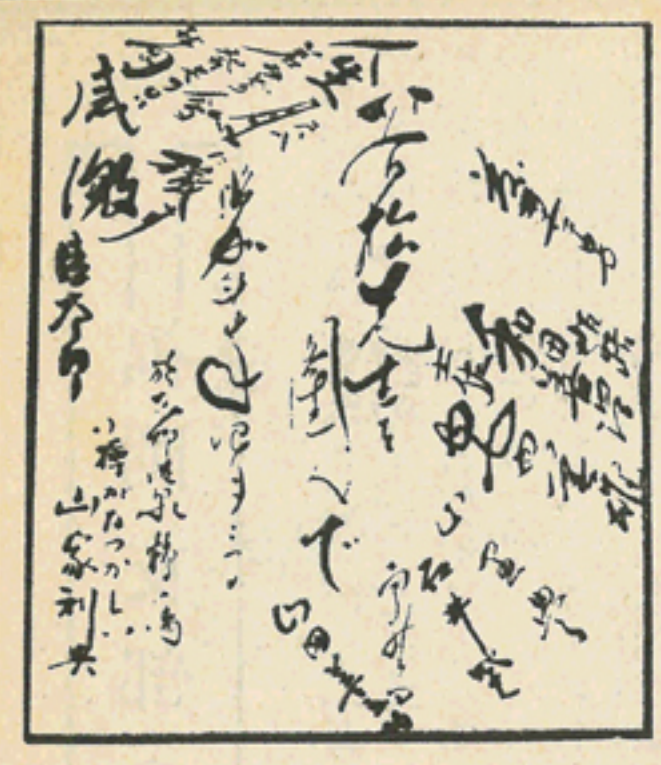
を懐かしむ愛称が口々に乱れ飛び入寮初夜のストームから寮費節減の連日ニシン攻勢、対北大敗戦記など珍談奇談が続出した。

宴益々酣にして老先生の松前老分節が村岡氏の尺八の伴奏に乗せられ、宮内氏お困自慢の「はりまや橋」さては寮歌応援歌のバン声は高く語るもの、うなる者、乱舞する者、さしもの大会場も雀躍尽きることを知らず遂に午前二時ごろやと収まった。翌四月四日朝八時すぎより昨夜の二次会が再会され写真撮影と寄せ書を記念に残して、ひる前に散会となった。思うに遠く母校と離れ、東京、大阪など同窓の多数集結する地域と隔絶された当地方の如きは、このような会合によってのみ母校を憶い春宵の一刻を学生時代の昔に帰る千会の時とし得るのであることを。

今後若松先生を中心に年々若みどり会が純開され、歳々同志のふえつどいますことを祈って報告とする次第である。

### 追記

若みどり会が斯くも盛大且スムーズに取り運ばれた最大の要因に会場



鶴の湯旅館(国際観光旅館)主が我々の同窓であったことを銘記しなければならぬ。

山田氏は本会のために筆舌のおよばぬ犠牲を払われた。重ねて銘記しなければならぬ。

会員一同恩返しの手段方法なきま

## 札幌正気寮会開く 三月二十四日 サッポロピヤホールで

第二寮出身の札幌会—主に昭和三十年代卒の Young boys が中心となつたつどいが、去る三月二十四日狸小路のサッポロピヤホールにて行われた。

元寮監の玉井武先生(大正一二、現札幌藤短大教授)が昨年六月ミシガン大学のサマー・セツションに参加され、またその機にアメリカ各地を周遊されたが、その土産話をかねがね拝聴したいと思つていた矢先、たまたまこの会の世話役を一手に引き受けていた今井金商の中本毅彦君(昭三二、旧姓林)が今回東京店へ御乗車とのことで、彼の送別会も兼ねて急に会合を持つことになった。それそれ皆多忙の身で、あまり集まらないのではないかと懸念していたところ、定刻の六時半には一九名

こゝにコマシヤル一節を編み入れさせて貰いたい。

こゝは松崎湯の街や恋し  
九品桜の色づく頃は  
お湯の中にもサッサ ホンニ  
花が咲くヨ

(村岡記)

もの懐しい顔ぶれが打ち揃う。札幌ビールの神田明彦君(昭三六)の骨折りで、会費を上廻るジョッキを傾けつゝ、近況の交換や寮友の消息など話に花を咲かせ時間の経つのも忘れる。

次いで、玉井先生の訪米スライドが上映される。映画での「西部の街」以外にはあまり詳しい知識のない我々にとっては、ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ等々全米各地への、更にカナダへの旅は、英文学者であられる先生の名ガイドとあいまって、とても楽しくまた有意義なひと時であった。

シカゴでは、目下日綿実業で活躍中の田中久彦君(昭三二)夫妻の元気な姿もスクリーンに現われ、懐しかった。

▲滝川支部便り▼  
桜庭亥一郎氏(大一一)が三十一一年住みなれた滝川(私立滝川商業高校長退職)を立出することとなり、緑丘会では約十名集い、送別会を開催。  
同氏は函館市五稜郭町五二で悠々自適の生活に入る由。

- 出席者▼
- 恩師 玉井武先生
  - 昭三〇 鈴木保男、佐々木利男、藤田巧明、千葉明見、西池勇
  - 昭三一 大塚健夫、三浦敏男、鈴木徹
  - 昭三二 中本毅彦、井田正彦、新沢友義、本間毅郎
  - 昭三三 梅本実
  - 昭三六 神田明彦、奥村信樹
  - 昭三七 島田五雄、松崎徳司
  - 昭三八 大野敏行、齋藤昭治



# 福岡支部のあつまり



昭和三十九年もおし迫った十二月二十六日、忘年会を兼ねて支部長、副支部長、幹事の改選を主題として支部会を召集した次第です。

場所は、福岡のアミューズメントとイーディング・センター東中洲の「喜久家」という老舗料亭でした。定刻六時には、遠くは北九州や郡部の会員が参集二十余名で、先づ先づの集りでした。

先づ支部長木村徹郎(大11) 副支部長馬場清義(昭3)の挨拶に続いて、昭和四十年年度の支部長、副支部長、幹事の改選に入りましたが満場一致で左記の方々にお願いすることに決定しました。

支部長 木村徹郎(大11)  
副支部長 馬場清義(昭3)  
幹事 坂本芳弘(昭16)  
(何れも再選)

### (写真説明)

前列向って右より

- 桑田喜久男(昭四年)
  - 馬場清義(昭三年)
  - 木村徹郎(大一年)
  - 柴田栄次郎(大十五年)
  - 久川高明(昭一七年)
  - 後列右より
  - 飯竹健三(昭三四年)
  - 近藤良一(昭三四年)
  - 植山幹雄(昭二〇年)
  - 高橋健次郎(昭一八年)
  - 西山弘美(昭一八年)
  - 佐藤弘(昭二〇年)
  - 諸岡栄(昭七年)
  - 塩田正典(昭一一年)
  - 野沢義人(昭一三年)
  - 長谷川亮一(昭一四年)
  - 坂本芳弘(昭一六年後)
- 以上です。

福岡は九州の雄都で中央官庁・商社の出先機関も多く、会員も沢山居る筈ですが連絡がとりにくく、加えて最近の経済状況では会員の転勤も頻繁で年々新しい顔になるので、先づ自己紹介から始まり、お互いの近況報告があり、また深刻な人生体験談など次々に披露されたのですが、会員の中には事業に失敗して、意気消沈して居つたのだが旧久と酌み「元氣を出せよ、これからだよ」と激励されて、氣力を取り戻すこと

## 広島支部新役員を決定

支部長 友沢 和一郎(昭二)

副支部長 鈴木憲三(昭九) 大島重男(昭九)

幹事長 小林 平治郎(昭一六後)

広島支部では昭和四〇年度第一回会合を三月二十六日広島市内集楽亭で開催した。

広島大学教授中野清一氏(当広島支部長)が京都立命館大学赴任に決定したので急遽広島、呉市内在住の会員に案内を差し上げたところ、十七名の緑丘人の参加を得ました。

岡山支部からは、尾崎支部長が来広、御出席を得た事は広島支部としても誠に力強く感じました。

△新役員決定▽  
支部長 友沢和一郎(昭二) 県経済農協連専務理事  
副支部長 鈴木憲三(昭九) 広島銀行呉支店長

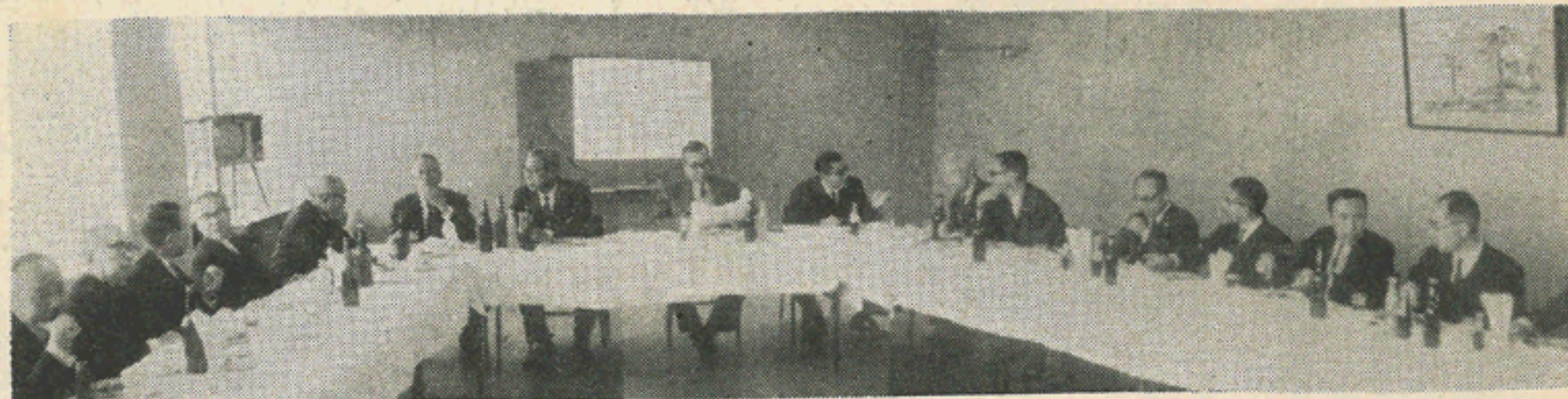
が出来た。出席してよかったと喜んで会員もあつた次第です。福引の余興などを催し、呑むほどに、酔うほどに各自かくし芸がでて最後に懐しの校歌をうたい、母校の万才を三唱して和氣あいあい裡に八時半過ぎ散会した次第です。

なお昭和四十年からは、少くとも春、秋二回支部会を開催して、支部活動を活発化したいたく思っております。(坂本幹事記)

副支部長 大島重男(昭九) 山尾石炭社長  
幹事長 小林平治郎(昭一六後)  
△東洋工業管理課長  
△支部所在地▽  
広島市大手町四丁目七番農協ビル  
広島県経済農協同組合連合会内  
専務理事 友沢和一郎 敬付  
以上決定後前支部長中野清一氏に記念品贈呈の事が万場一致決定した。

△広島支部の会費▽  
広島支部の会員は月額一〇〇円、年額一、二〇〇円で会計幹事は赤谷良士氏(丸嘉機械株式会社広島営業所勤務)である。

# 大阪支部十日会



## 十日会(二月例会)

二月十日会「小林多喜二の生涯」という懇談会開催。「緑丘」小林多喜二特集が発刊される取材の意味もあり、進行係の墓目副支部長の出席を期待したが社用のため欠席のまま本日十日会を開く。

墓目編集長の書いた多喜二年譜を黒板に貼って、会員に見ていただきフリートーキングに入った。

小林多喜二に対する批判が出て、懇談会が一寸白々しくなった。しかし加茂学長原稿、大野前学長原稿の披露する頃、幕切れ時間近くなつて活発な憶い出話も出た。本日の低調さは司会者にも責任があり誠に申し訳なかった。

- △出席者▽
- 杉山昌作、宮地邦介、(大一一)
  - 田中弥三郎、喜多村久盛、(大一一)
  - (二) 畑信太郎(大一一四) 外村全二(大一一五) 石田平八(昭二) 滝沢中、樋山三郎(昭三) 堀池善弥(昭五) 田中正三(昭一一) 和田益太郎、木村章三、山家利典、藤城敏雄、若山永太郎(昭一三) 市橋宏一郎(昭一四) 山本健一(昭一六後) 角响(昭二九)

## 十日会(三月例会)

椎名幾三郎先生をゲストに迎えてサッポロビール㈱大阪支店会議室で三月度十日会を開催した。

当日の出席者左記の通りで、今回は「自己PR」(自社及び商品のPR)を懇談テーマとし、極めて有意義の会合であった。

宮地、四谷、大久保大先輩を初め

### シネラマで一番新しい！一番楽しい最新作！

世界中でステキなところをめぐる堂々3時間の旅行



# 地中海の休日

絶賛上映中

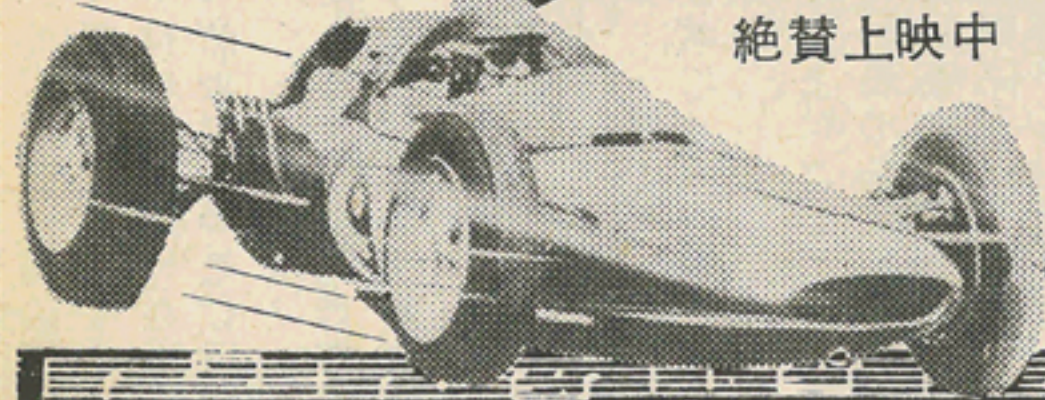
日曜・祭日の外9.15より4回上映	A席 800円
平日	B席 600円
	C席 400円
	学生 300円
	小人 200円
	他に特別席 全館指定席

前売券発売中・当日券もございます  
電話予約受付中/団体予約受付中

大阪 361 梅田 OS劇場

日本最高のスーパーシネマ劇場(東京はテアトル東京)

天然色  
日本話版  
立体音響





とし、仲々熱心に自社PRに努めておられた。昭和三十五年卒日本毛織の梅野卓男君は、日本毛織製ジュウタンのPRをしたあと、超大型の封筒をとり出し、各人よりそれぞれ配布された、パンフレット類を入れて御持ち帰り下さいと仲々気のきいたPRをし、一同の拍手喝采を博した。

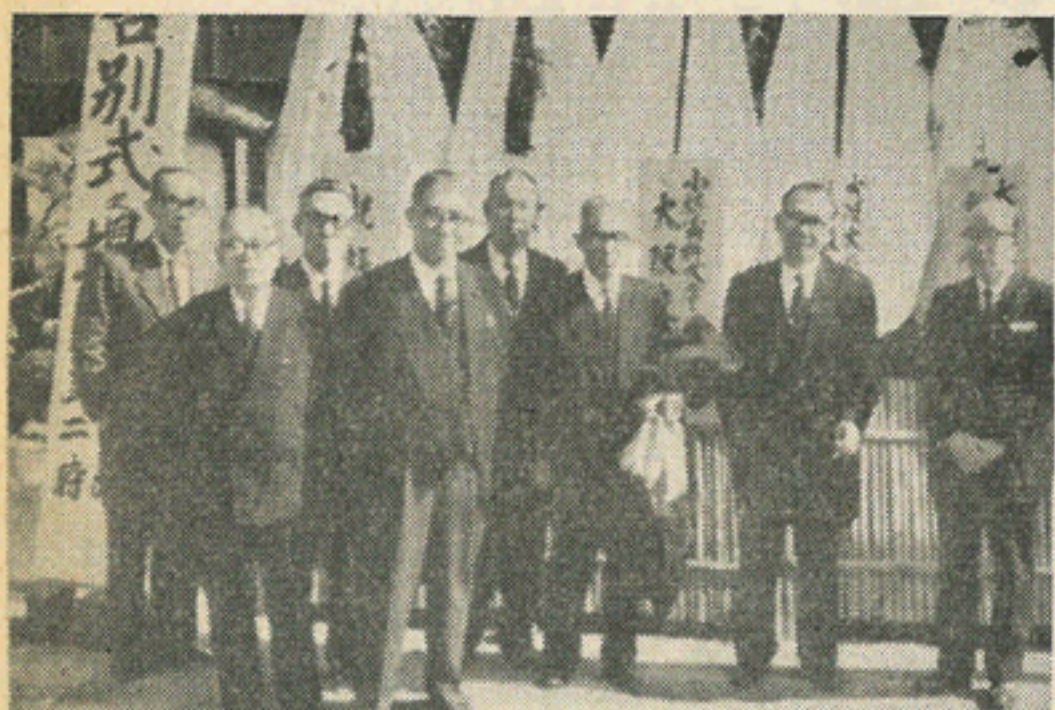
### 故佐藤宮二君を想う

大久保 鹿 式 (大一一)

佐藤君急逝の記事は函商、小樽を通じて深い関係のあった能代君が逸早く前号に書いてくれたので重複の嫌はあるが、関西在住の級友の一人として彼の生前の近況等を無遠慮に書き並べて故人を偲ぶよすがとした。

歌訪の森駅前薬局を開くまで十合幹部に列して戦後比較的不利の立場にあった十合百貨店を営々今日の十合に仕上げたのであって、その功績は確かに彼に負うところ大である筈だ。ところが好事魔多しというか、十一年前の昭和二十九年には直腸癌で倒れてしまったのである。

晩年は病床に親しみ勝のため同窓の集まりには殆んど欠席した。三十七年六月の田中弥三郎君の自宅の新築祝にはやっと出席するようになったといつて祝宴に列なつた、その外一、二回位しか出てこなかつた。



(左から) 丘村、喜多村、大竹、大久保、田中、椎名先生 小山、巖目

この人は特に博覧強記、昔の事をよく覚えておつて話題を与えてくれた。わがらぬ事は佐藤に聞けというのが、我々の合言葉であつた位重宝な人であつた。

### 面影眼に在り、声音耳に在り、幽魂今いずこ

住吉貞英君逝く

稲垣 芳 雄 (大六)

緑丘大正六年卒の級友住吉貞英君は、去る三月十日午後十時五十分、忽然として逝きました。病名は直腸ガン、享年七十才でした。

住吉君は、この貞之進氏の子女、四男、二女の中の四男で、明治二十七年七月四日に生れ、郷里は会津若松です。住吉君のすぐの妹の郁子さんは小鷹狩家に嫁ぎ、その二女繁子さんは、来る十月三日根上淳さんと結婚するベギー葉山さんです。

住吉君が、そんな不治の病にかかつていたことをわれわれ全然知っていませんでしたから、その訃音を伝えられても、とても信じられないくらい驚きでした。

住吉君は、かつて胃潰瘍と痔瘻をわずらつたことがあります。近年はわりに元気でしたが、去る二月ころから多少気分がすぐれない様子で、「人間ドック」に入るつもりで、二月二十五日、杏雲堂病院に入院したそうす。

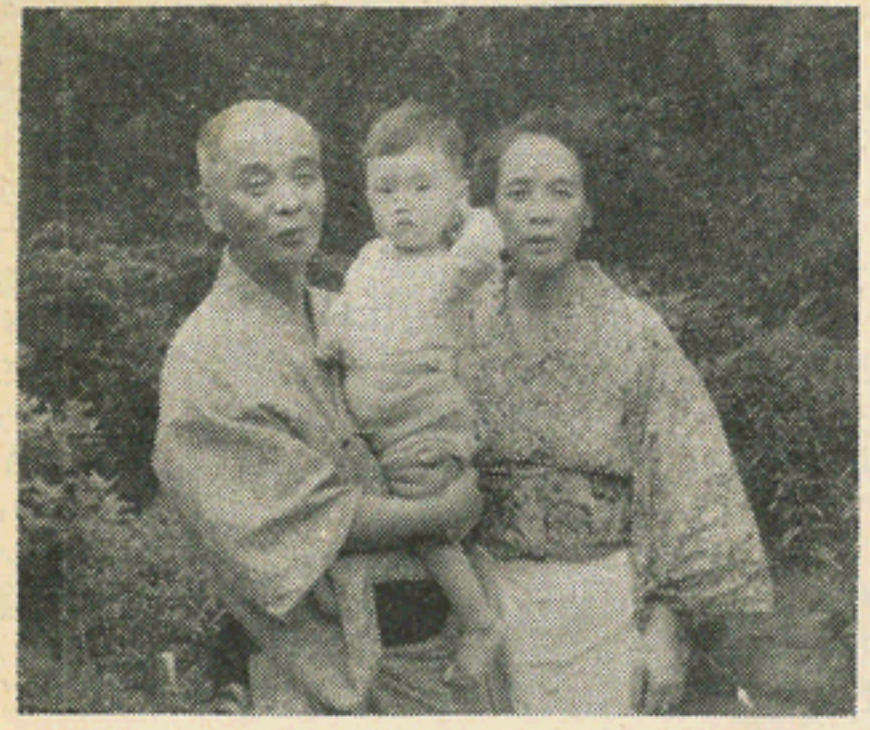


(左から) 住吉貞英氏、愛孫寿夫君、千鶴子夫人

そこで精密な検査を受けた結果、直腸にガン症状のあることがわかつたのです。しかし手術することはむしろ危険だとの診断で、見送られました。そんなに早く生命を奪うほどガンが進行していたとは、当の住吉君はもろろん、千鶴子夫人も全く考へておられなかつたことす。

住吉君は、大正六年母校を卒業すると直ちに三菱合資会社に入り、大正十年一月三菱電機に転じました。昭和十八年に同社神戸製作所の経理部長になり、同二十一年二月同本社の経理部長に昇任、三十一年四月取締役になり、同社退任後は菱電商事に入り、他界の時はこの会社の顧問でした。

明後昭和四十二年は、われらが小樽高商を卒業してから満五十年になります。母校の校門を去つてから半世紀の間変らず続いたわれらの友情を記念するくわだての準備に、今から手をつけておこうという話が、去年十二月の「大六会」できまり、きよの例会はその具体案について相談する予定でした。



(左から) 住吉貞英氏、愛孫寿夫君、千鶴子夫人

住吉君は、かつて胃潰瘍と痔瘻をわずらつたことがあります。近年はわりに元気でしたが、去る二月ころから多少気分がすぐれない様子で、「人間ドック」に入るつもりで、二月二十五日、杏雲堂病院に入院したそうす。

住吉君は、大正六年母校を卒業すると直ちに三菱合資会社に入り、大正十年一月三菱電機に転じました。昭和十八年に同社神戸製作所の経理部長になり、同二十一年二月同本社の経理部長に昇任、三十一年四月取締役になり、同社退任後は菱電商事に入り、他界の時はこの会社の顧問でした。

明後昭和四十二年は、われらが小樽高商を卒業してから満五十年になります。母校の校門を去つてから半世紀の間変らず続いたわれらの友情を記念するくわだての準備に、今から手をつけておこうという話が、去年十二月の「大六会」できまり、きよの例会はその具体案について相談する予定でした。



オリンピック以来  
ユニークなアイデアを買われた!

各国代表料理缶詰シリーズ

MCC

# 世界の味

料理指導  
江上料理学院長  
江上トミ先生

居ながら楽しめる

各国代表料理の缶詰

- |       |            |
|-------|------------|
| 日本    | すきやき       |
| ロシア   | ボルシチ       |
| イタリア  | ミートソース     |
| ハンガリー | ビーフシチュー    |
| アメリカ  | コンスープ      |
| イギリス  | トマトスープ     |
| フランス  | デミグラス・ソース  |
| ドイツ   | ハンバーグ・ステーキ |
| シシリー  | スパゲッティグラタン |
| インド   | ビーフカレー     |
| スペイン  | スパニッシュライス  |
| オランダ  | いちごチャム     |
| ポルトガル | ママレード      |

只今!! 販売店サービスとして  
異質業界で絶賛好評!!

販売促進用景品  
(セールズ プロモーション)

各種セット組合せ調製



新発売  
ホームカレー



## エム・シー・シー食品株式会社

代表取締役 水垣敏正 (昭五卒)  
神戸市長田区苅薬通5丁目15 TEL神戸 (67) 1245(代)

文字通り出しぬけにわれらを残して去ってしまったとは、人生まことに無常、暗然たる思いでいっぱいです。君は、君に接するすべての人々から愛され慕われた実によい人柄の男でした。心のあたたい、人間味のゆたかな、ものわりのよい苦勞人でした。長く三菱電機に在任し、その後その関係の会社であつて、いろいろよい仕事をした人材でした。われらにとつては、つねに信頼ができ頼りになるたのもしい友人でした。隔月に開く「大六会」にはつとめてよく出席してくれ、いつも会合を楽しくしてくれる貴重な存在でした。君を喪つて何だかわれらの胸に大きな空際が生じ、「大六会」に埋めたい深い穴があいた感じがします。一同、身辺の寂寥たとえようがありません。

君と長い歲月苦楽をともにされた生涯のよき伴侶であつた奥さまや、肉親の方々の受けられた大きな心の痛手を察して、胸いたむ思いです。明後年卒業五十周年の祝賀会の席には、君が長年年期を入れた得意の長唄を、同じ趣味の名手の奥さまとともに来ていただき存分に聞かせてもらおうと、ひそかに考えていました。先年の「大六会」には、われらの乞いを入れて君は愛姫ベギー葉山さん連れて来、歌わせてくれました。

その愛姫が今秋結婚されるというのに、その喜びの日も待たずに君は逝ってしまいました。すべて、空しい望みになったのです。きよりの「大六会」は予定通り開きました。おのずからにして君を

しのび君を悼む会になりました。君を思い君について語るほど、君がいかによい人であり友であつたかといふことが、われらの心に等しくかつ強く感じられてきて、哀惜の念まことに禁ずることができません。われらもみないずれ君のあとを追う年齢になつておりますが、われらの生きている限り、われらの心の中に君は生き続けています。先に旅立った君のあとからわれらもやがて旅立つて、いつの日かはみな落ち合う時があるうと思ひます。そのときは「大六会」のつどいを、今生から幽界に移して、また語りあうことにならしましう。

住吉君  
一足先に行つて、われらの行き着く時までおもむろに待つていてくれたまへ。たとえ寂しくとも、願わくば、われらの出発を性急に促がすことのないように。  
君のみたまの平安を心から念じています。では、さらば。  
昭和四十年三月十二日  
大六会

住吉君が亡くなつてから、橋本一君がしみみとわれらに耳うちしたことがあります。  
「つい先ごろ住吉君が、おれは緑丘卒業五十周年まで生きておれるだろうか」と言つていたよ」  
そんな弱音を吐く住吉君ではなかっただけに、今度の思いがけぬ同君の急逝と思ひあわせて、どうしてそんな言葉を住吉君が洩らしたのだろうと、胸の中をさつと寒い風が吹き通るような寂しさを覚えます。



日立商品特約店

## 日本電気機器株式会社

取締役社長 天野雅司 (大正15年)

本社 サクラバシ日立ショーストール

大阪市北区曾根崎新地2丁目50番地

電話大阪 (361) 8871番 (代表)

大阪 (361) 4602番 (夜間専用)